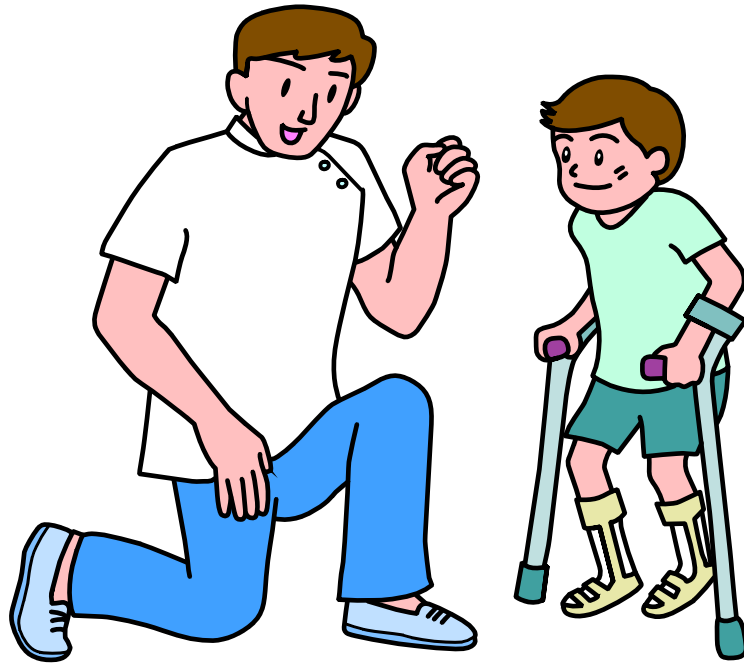


平成 18 年 度

# リハビリテーション専門職従事状況調査結果報告書

(作業療法士・理学療法士)



宮城県リハビリテーション支援センター

# 目 次

	頁
1 目的 .....	1
2 調査対象 .....	1
3 調査項目（調査票 ⇒ 39 頁） .....	1
4 調査方法 .....	1
5 調査結果 .....	1
(1) 回答総数(率)・男女別及び職種別回答数(率)について .....	1
(2) 出身地別・居住地別について .....	2
(3) 勤務先種別・勤務先の所在地別について .....	6
(4) 通算勤務年数について .....	13
(5) 仕事上重視するものについて .....	14
(6) 現在の仕事の満足度について .....	17
(7) 職場への改善要望について .....	18
(8) 転職について .....	24
(9) 仕事上の悩みについて .....	31
6 まとめ .....	38
7 調査票様式 .....	39
8 用語解説 .....	40

## リハビリテーション専門職従事状況調査について

### 1 目的

宮城県の人口10万人あたりのリハビリテーション専門職数の順位は、全国的に見ても東北各県と比較しても低い位置にあり、さらに都市部である仙台市と郡部との地域較差も大きい状況となっている。

このことから、従事者の勤務の実態や意識を調べることにより、その現状を確認し、今後の人材確保の方策を検討する上での資料とするために、今回、標記調査を実施した。

### 2 調査対象

宮城県作業療法士会及び宮城県理学療法士会に属する作業療法士（OT）及び理学療法士（PT）

調査票発送件数：OT 505名、PT 578名 計1,083名

### 3 調査項目（内容）

別紙調査票参照（39ページ）

### 4 調査方法

OT士会員分は、当所で作成した文書と調査票を持参し、同会から送付する会報等に同封し郵送していただいた。

PT士会員分は、同会から会員のあて先と会員あての依頼文を提供してもらい、当所で郵送した。

いずれも回答ハガキは当センターで回収・集計した。

### 5 調査結果

#### （1）回答総数（率）・男女別及び職種別回答数（率）について

表1 〈男女別職種別〉

	OT	PT	不明	合計
男性	45	123	0	168
女性	128	150	2	280

図1-1

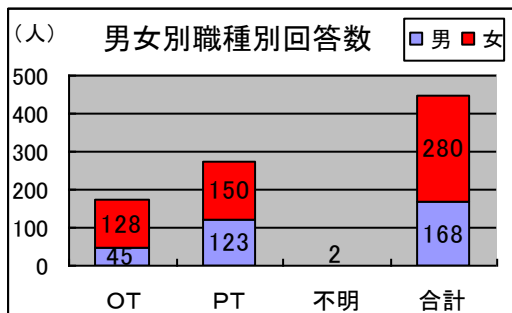


図1-2

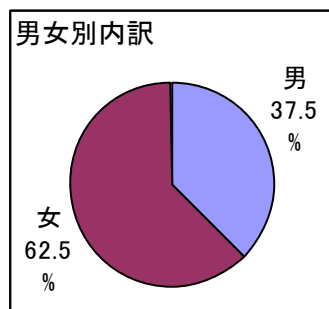
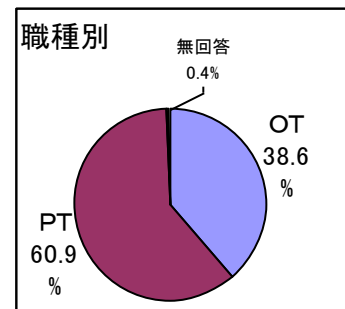


図1-3



回答総数は448名で回答率41.4%であった。内訳は、OT173名（38.6%）、PT273名（60.9%）であり、職種無回答が2名（0.4%）であった。また、調

査票発送数に対する職種毎回答率をみるとOT 34.3%, PT 47.2%であった。OTとPTの職種によって回答率に差があるのは、調査方法の違いもあるものと推測される。

回答数の男女別内訳は、男性168名(37.5%), 女性280名(62.5%)であった。

表2 〈年齢別〉

年齢別	人
20～24歳	77
25～29歳	136
30～34歳	99
35～39歳	55
40～44歳	41
45～49歳	21
50～54歳	6
55歳以上	13
計	448

図2

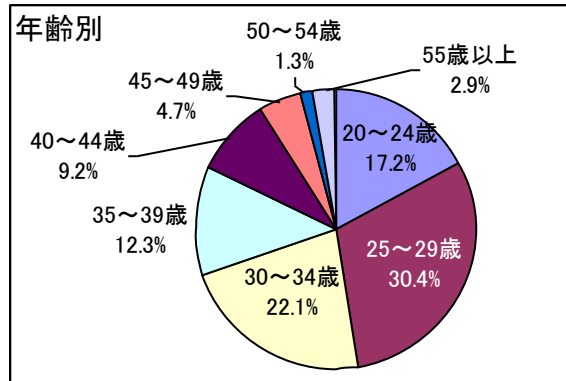


表2及び図2の年齢別で見ると、20代から30代の若い世代が8割以上を占めた。

(2) 出身地別・居住地別について

表3 〈出身地別〉

出身地	人
宮城県内	228
東北他県	147
その他	72
無回答	1
計	448

図3

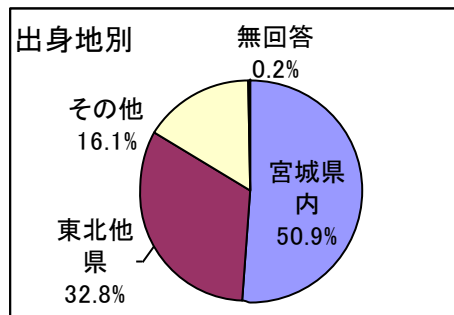


表3及び図3の出身地別を見ると、宮城県内が50.9%であった。また、逆に48.9%が宮城県以外の出身者で、このうち東北他県出身者が32.8%を占めている。残りの16.1%には、北海道(16名)や東京都(9名)出身が多く、茨城県(6名)、神奈川県(6名)、新潟県(5名)等の関東中越地方の出身者も多くいた。

表4 〈居住地別〉

居住地	人
仙台市	263
仙台圏域	46
仙南圏域	18
大崎圏域	29
栗原圏域	10
登米圏域	8
石巻圏域	38
気仙沼圏域	8
他県	5
無回答	23
計	448

図4

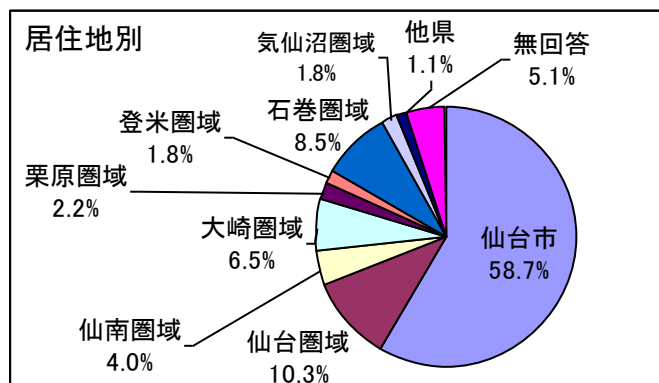


表4及び図4の居住地別では、仙台市が263名（58.7%）と圧倒的に多く、仙台圏域、石巻圏域、大崎圏域と続く。これは、(3)で述べる勤務先の所在地に関連し、勤務先である医療機関や施設が多い圏域に集中していると思われる。

表5

OTPT居住地別出身地						
区分	出身地					
職種	居住地	宮城県内	東北他県	その他	無回答	総計
OT	宮城県内	91	54	25		170
	その他		2			2
	無回答				1	1
OT合計		91	56	25	1	173
PT	宮城県内	137	87	45		269
	その他		3	1		4
PT合計		137	90	46		273
無回答	宮城県内		1	1		2
総計		228	147	72	1	448

表6

OTPT居住地別出身地(詳細)														
区分	出身地→宮城県													
職種	居住地名	仙台市	仙南圏域	仙台圏域	大崎圏域	栗原圏域	登米圏域	石巻圏域	気仙沼圏域	東北他県	その他	無回答	合計	
専門職計	仙台市	85	6	9	2	1	4	9	1	90	51	5	263	
	仙南圏域	2	11	1						4			18	
	仙台圏域	6	2	13		1	1			16	7		46	
	大崎圏域	6	1	2	5	1	1	1		10	2		29	
	栗原圏域					5				5			10	
	登米圏域					1	3	1	1	1	1		8	
	石巻圏域	4		1		1	1	17	1	9	4		38	
	気仙沼圏域	1							5	2			8	
	隣県								1	4				5
	無回答									3	1		19	23
合計		104	20	26	7	10	10	29	8	144	66	24	448	

図6-1

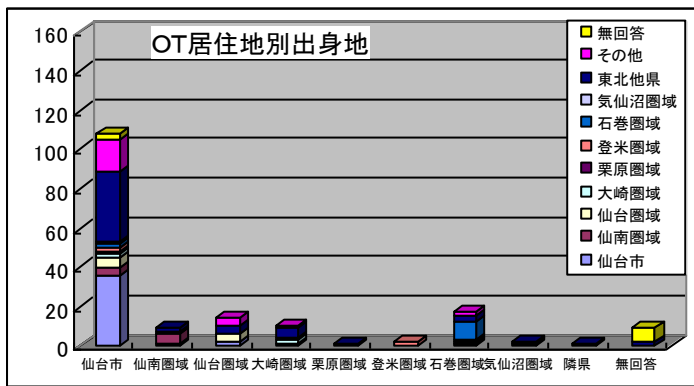


図6-2

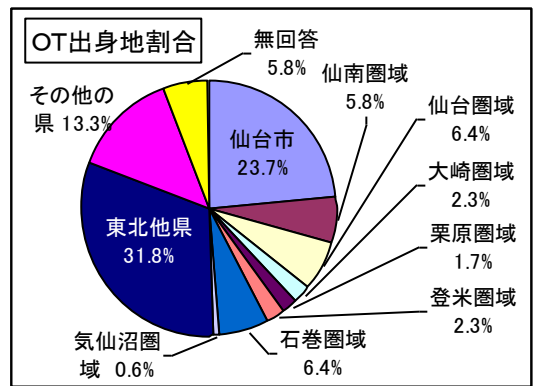


図 6 - 3

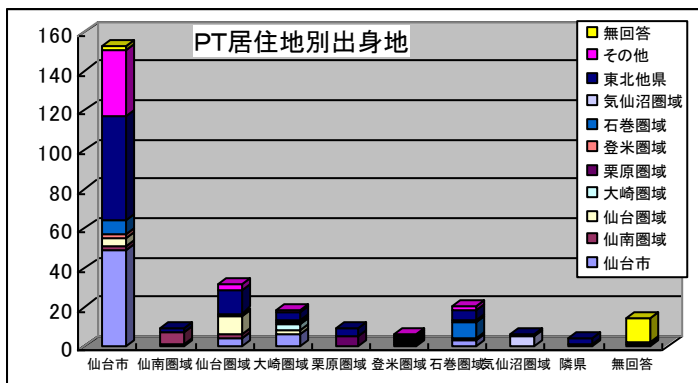


図 6 - 4

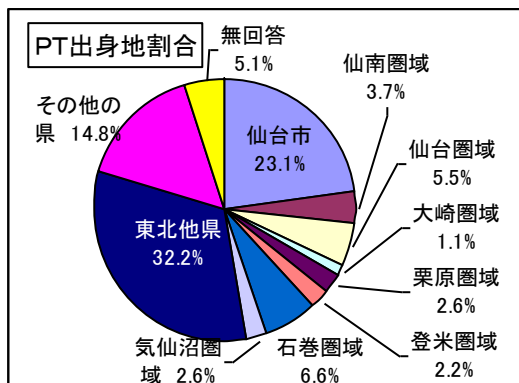


図 6 - 5

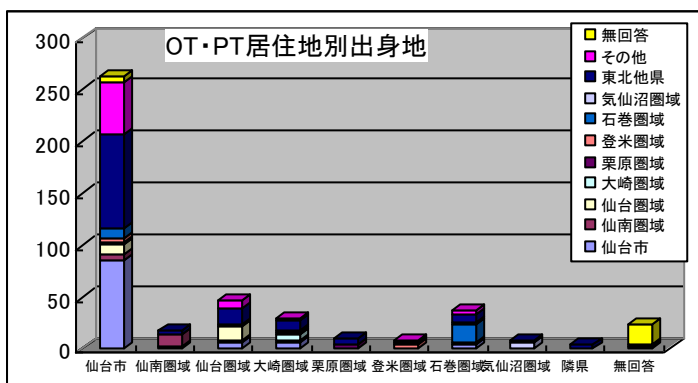
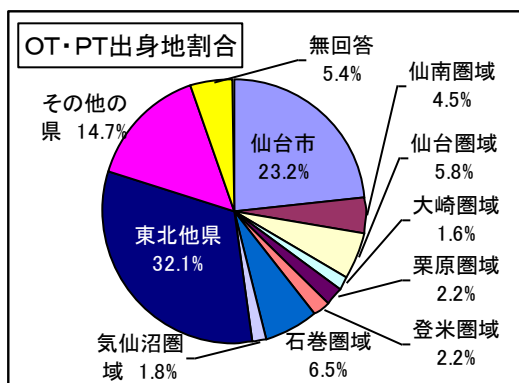


図 6 - 6



職種別に居住地と出身地を見てみると、OT・PTで大きな違いはなく、県内出身者は47.8%（図3との差は市郡名無回答の差）で、他は他県出身者でありそのうち東北出身者が32.1%となっている。

県内出身者で最も多いのは仙台市であり、全体の23.2%となっている。県内の他地域は24.6%、東北他県が32.1%、その他北海道や関東等他の都県が14.7%となっている。

図 6 - 7

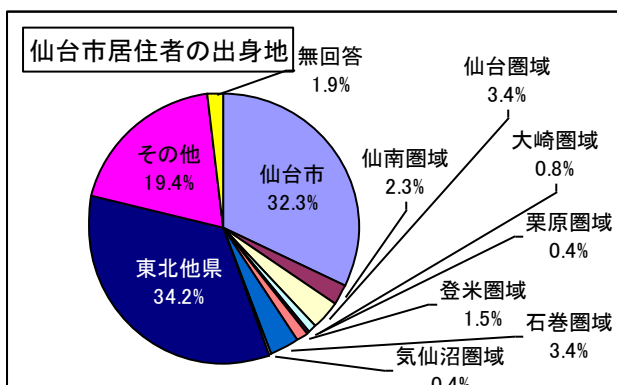


図 6 - 8

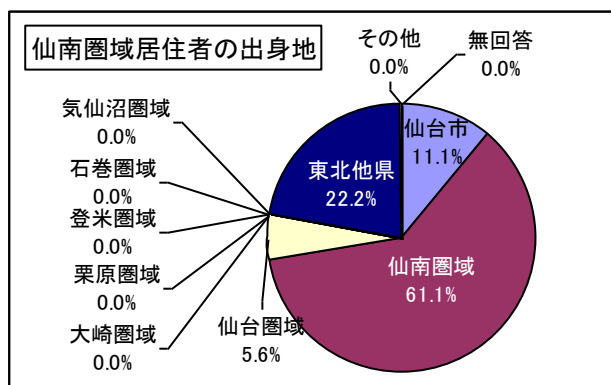


図 6 - 9

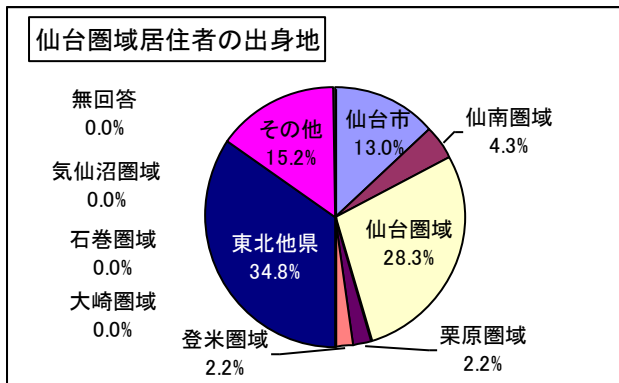


図 6 - 1 0

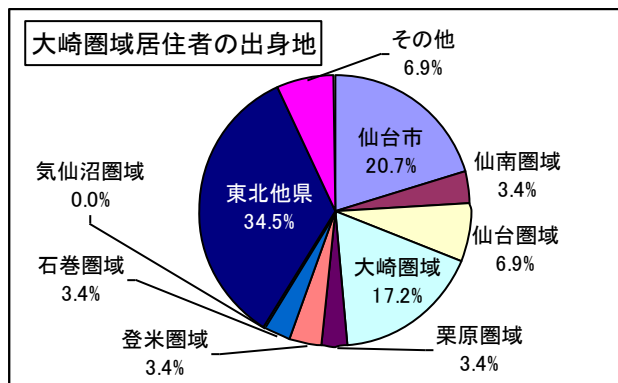


図 6 - 1 1

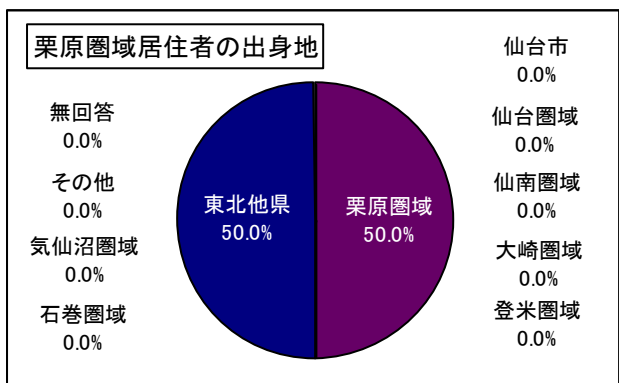


図 6 - 1 2

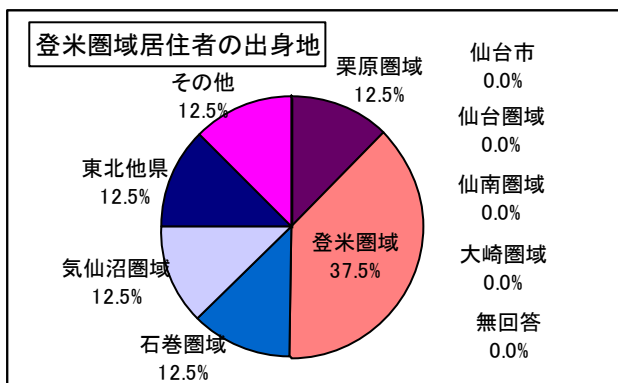


図 6 - 1 3

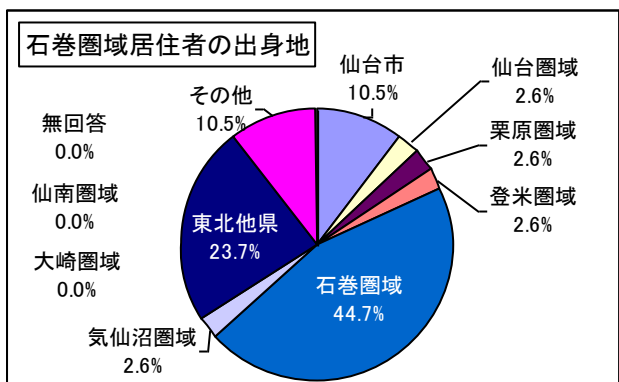


図 6 - 1 4

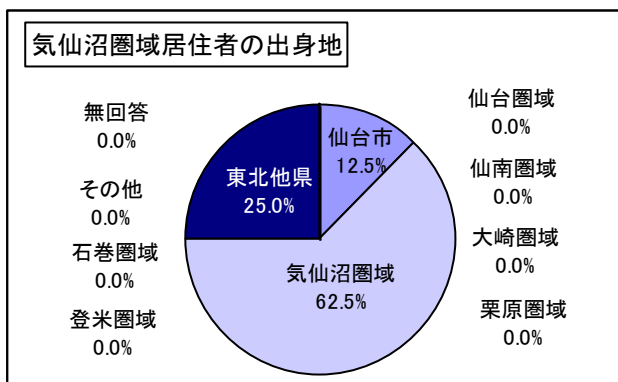
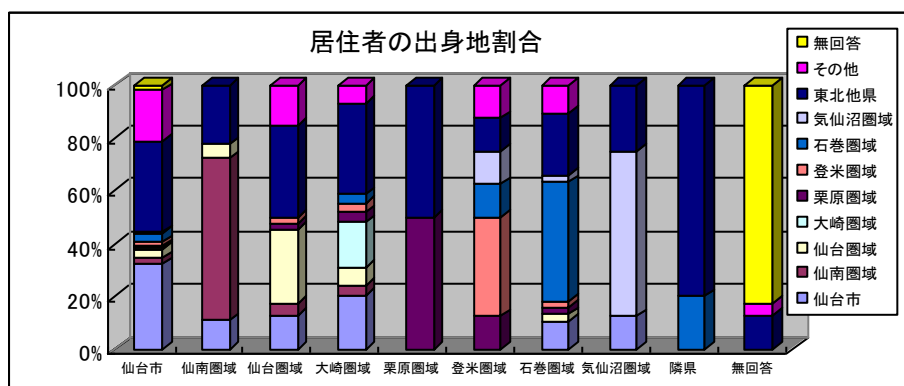


図 6 - 1 5



県内各圏域に居住しているOT・PTの出身地を割合別に見てみると、仙台市居住者のうち他県出身が53.6%、県内が44.5%でそのうち地元の仙台市出身が32.2%となっている。

仙南圏域は、地元仙南出身が61.1%、隣接する仙台市と仙台圏域出身が合わせて16.7%、他県が22.2%となっている。

仙台圏域では、地元仙台圏域出身が28.3%、仙台市13.0%を含む県内他圏域が21.7%となっている。他県が50.0%のうち東北が34.8%である。

大崎圏域では、地元大崎圏域出身が17.2%、仙台市が20.7%、他の県内圏域が20.5%、東北34.5%、他県6.9%となっている。

栗原圏域は、地元栗原出身が50.0%、東北他県が50.0%と他と比べても特異な結果となっているが、これは元々のサンプル数の少なさも一因と思われる。

登米圏域は、地元登米出身が37.5%で栗原、石巻、気仙沼、東北他県、その他がそれぞれ12.5%となっているが、これもサンプル数が少ないための結果と思われる。

石巻圏域は、地元石巻出身が44.7%、次いで東北他県が23.7%、その他、仙台市が10.5%、他は仙台圏域、栗原、登米、気仙沼が2.6%となっている。

気仙沼圏域は、地元気仙沼出身が63.5%、東北他県が25.0%、仙台市が12.5%となっている。

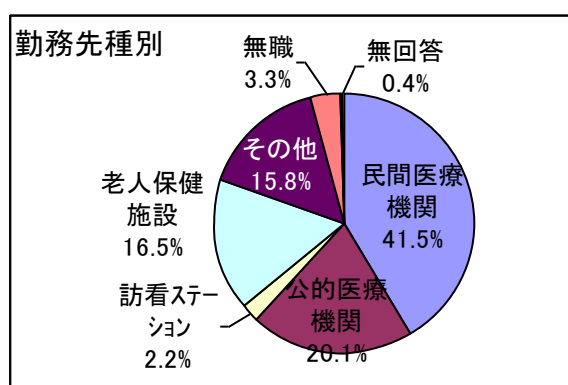
全体的に見ると、都市部である仙台市、仙台圏域では地元出身者以外が居住者の多くを占めていることが分かる。これは、都市部には人材を多方面から集められるということであり、郡部へはなかなか地元出身者以外が集まらないということを表していると考えられる。ただ、各圏域とも他県出身者、とりわけ東北出身者がかなりの割合で居住していることが分かる。

### (3) 勤務先種別・勤務先の所在地別について

表7 〈勤務先種別〉

勤務先種別	人
民間医療機関	186
公的医療機関	90
訪看ステーション	10
老人保健施設	74
その他	71
無職	15
無回答	2
計	448

図7



勤務先種別で見ると、医療機関で勤務している人が民間と公立を合わせて61.6%であった。また、老人保健施設で勤務している人は16.5%で、無職は3.3%であった。その他としては、リハビリテーション専門職養成校や福祉施設及び行政等が挙げられる。



表 8

OTPT年齢別勤務先種別								
区分	勤務先種別							
年齢	民間医療	公的医療	訪看ステ	老健施設	その他	無職	無回答	総計
20～24歳	48	15	2	12				77
25～29歳	62	26	3	24	16	4	1	136
30～34歳	35	16	3	20	15	10		99
35～39歳	21	11	1	8	13		1	55
40～44歳	9	11		7	13	1		41
45～49歳	9	6	1	2	3			21
50～54歳		4			2			6
55歳以上	2	1		1	9			13
総計	186	90	10	74	71	15	2	448

図 8 - 1

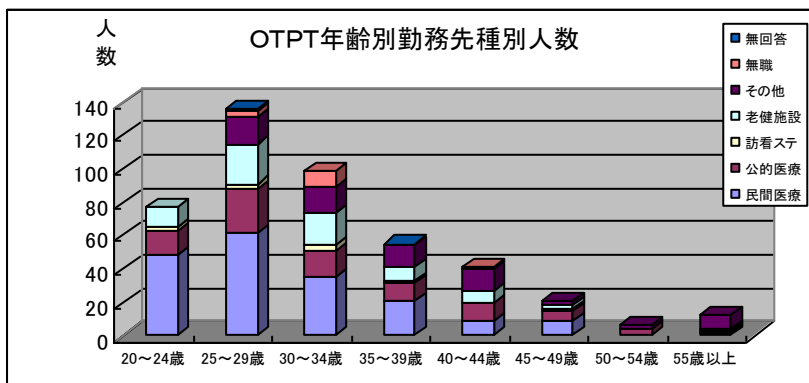
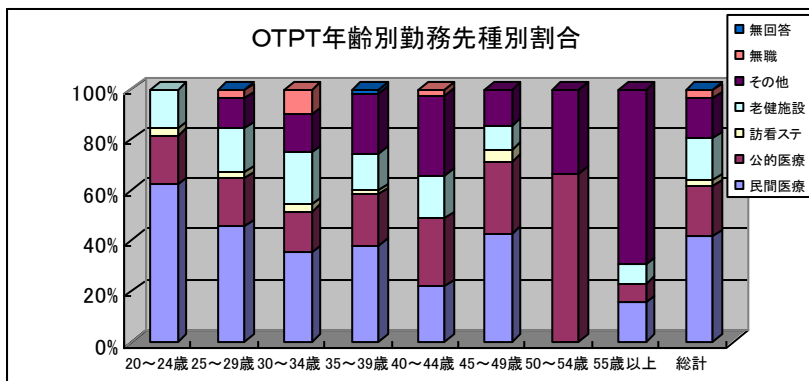


図 8 - 2



若い年齢層は医療機関が多いが、年齢が上になるにつれ他施設の割合が増え、バランスが良くなる。45～49歳は、また医療機関が急に多くなる。また、20～24歳を除き、その他の割合が高い。無職は30～34歳で多い。

図 8 - 3

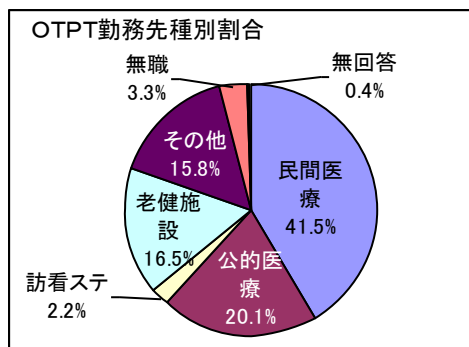
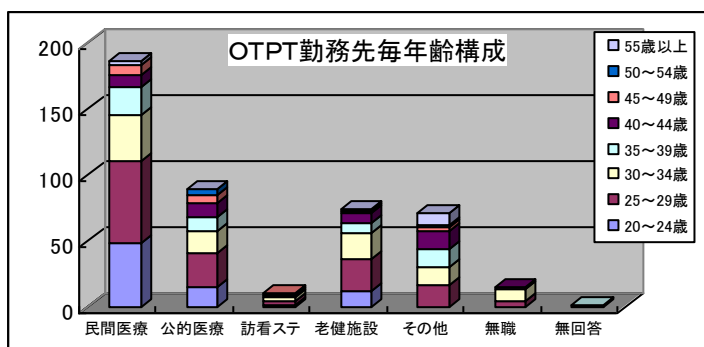


図 8 - 4



民間医療機関は、30歳以下の若い世代が半数以上である。公的機関、老人保健施設及びその他（教育機関・行政）は、30歳以上の割合が増え、比較的各層のバランスが取れてくる。その他は、高い年齢層が若干多い。

表 9

OTPT年齢別勤務先		勤務先種別							総計
職種	年齢	民間医療	公的医療	訪看ステ	老健施設	その他	無職	無回答	
OT	20~24歳	15	5	1	10				31
	25~29歳	27	6	3	10	7	2		55
	30~34歳	11	8	1	7	7	5		39
	35~39歳	7	5	1	6	6		1	26
	40~44歳	3	3		3	5			14
	45~49歳	2	2			1			5
	50~54歳								
	55歳以上					3			3
OT計		65	29	6	36	29	7	1	173
PT	20~24歳	33	10	1	2				46
	25~29歳	35	20		14	9	2	1	81
	30~34歳	24	8	2	13	8	5		60
	35~39歳	13	5		2	7			27
	40~44歳	6	8		4	8	1		27
	45~49歳	7	4	1	2	2			16
	50~54歳		4			2			6
	55歳以上	2	1		1	6			10
PT計		120	60	4	38	42	8	1	273
総計		185	89	10	74	71	15	2	446

図 9 - 1

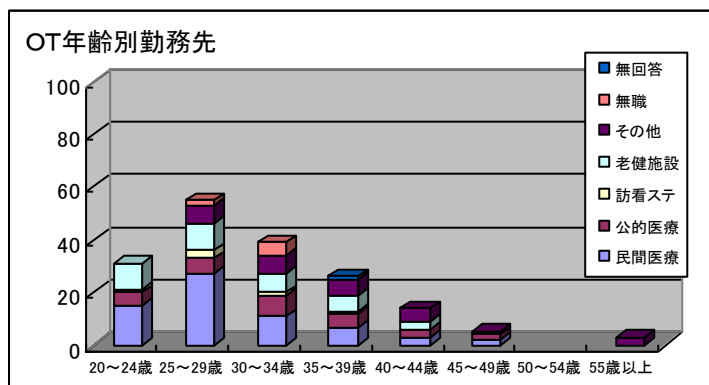


図 9 - 2

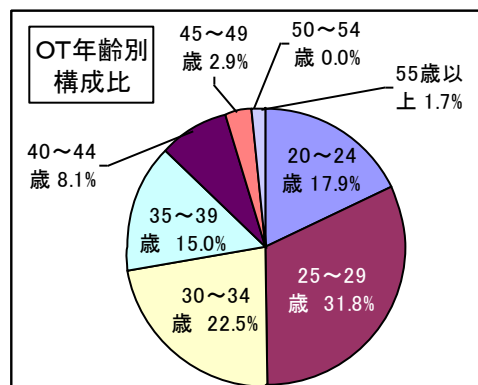


図 9 - 3

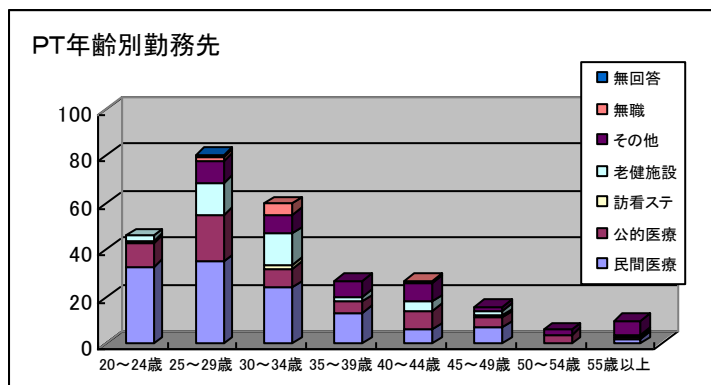
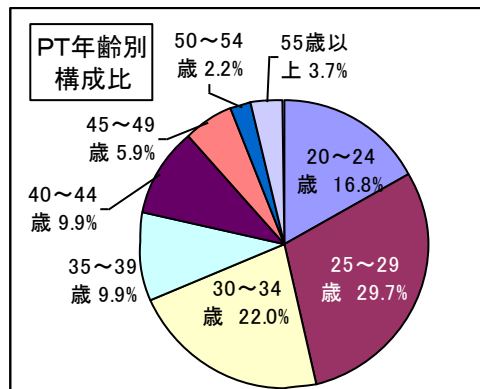


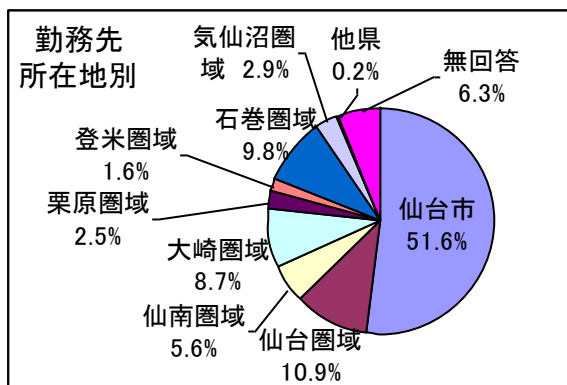
図 9 - 4



OT・PT年齢別の勤務先種別を見ると、OTは30歳未満が49.7%、PTは46.5%と若い世代が多数を占め、特に医療機関に勤務する30歳未満のOTはOT全体の30.6%、同PTは35.9%にのぼる。

表 1 0 〈勤務先所在地別〉 図 1 0

勤務先住所	人
仙台市	231
仙台圏域	49
仙南圏域	25
大崎圏域	39
栗原圏域	11
登米圏域	7
石巻圏域	44
気仙沼圏域	13
他県	1
無回答	28
計	448



勤務先所在地別では、仙台市内の医療機関や施設等に勤務している人が231名(51.6%)と半数以上であることが分かる。仙台圏域、石巻圏域、大崎圏域と続くが、これは、先に述べた表4の居住地別の結果と重なってくる。

表 1 1

OTPT勤務先別勤務先住所		勤務先住所(所在地)										総計	
区分	勤務先種別	仙台市	仙南圏域	仙台圏域	大崎圏域	栗原圏域	登米圏域	石巻圏域	気仙沼圏域	東北他県	無回答		
OTPT計	民間医療	108	11	24	15	1		18	1	1	6	185	
	公的医療	37	5	6	14	4	3	14	5		1	89	
	訪問ステ	7		1			1	1				10	
	老健施設	21	7	14	5	5	2	11	6		3	74	
	その他	55	2	3	5	1	1		1		3	71	
	無職											15	15
	無回答	1		1									2
総合計		229	25	49	39	11	7	44	13	1	28	446	

図 1 1 - 1

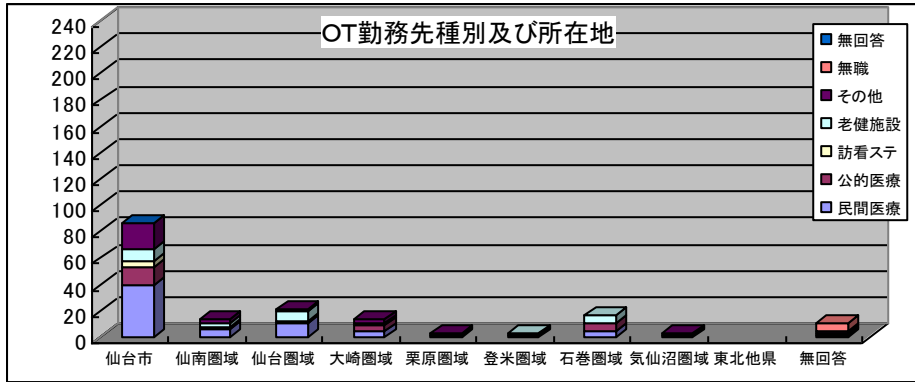


図 1 1 - 2

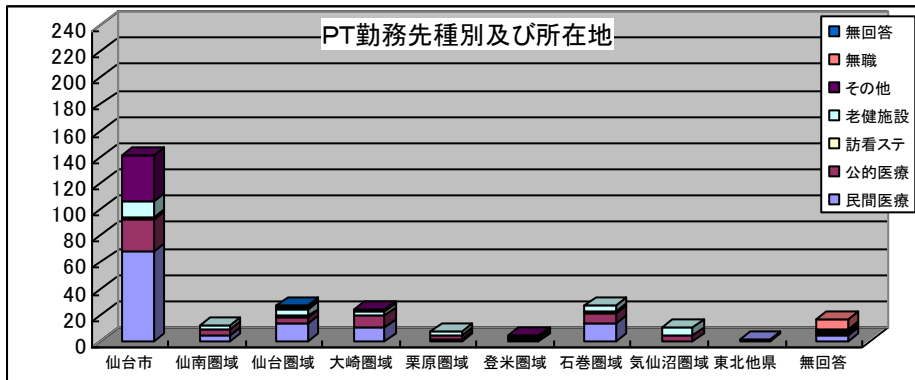


図 1 1 - 3

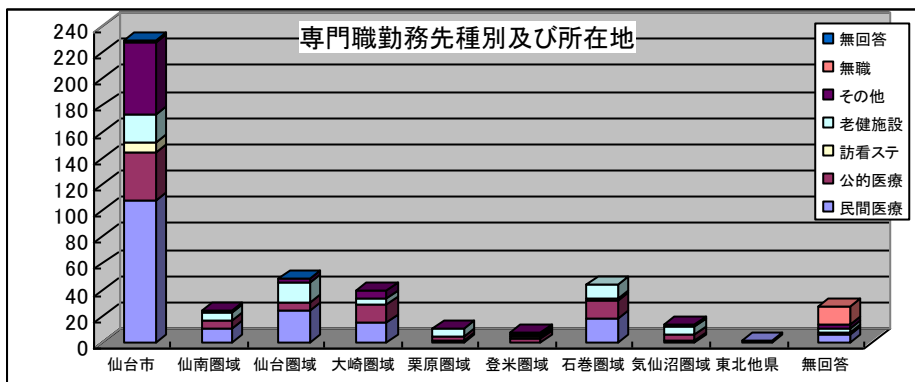


図 1 1 - 4

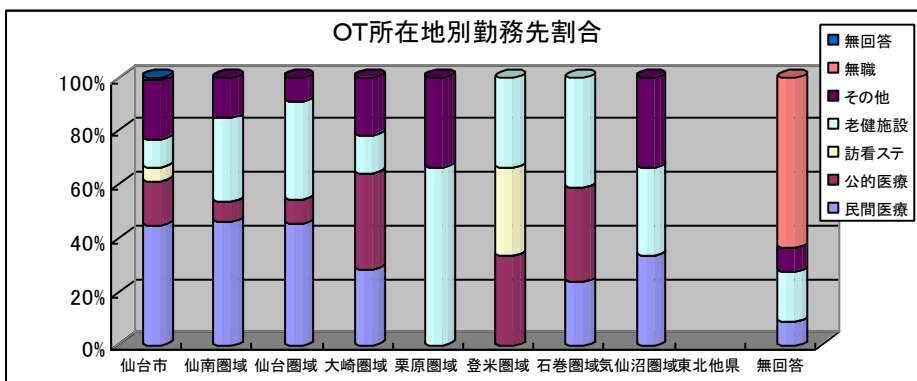
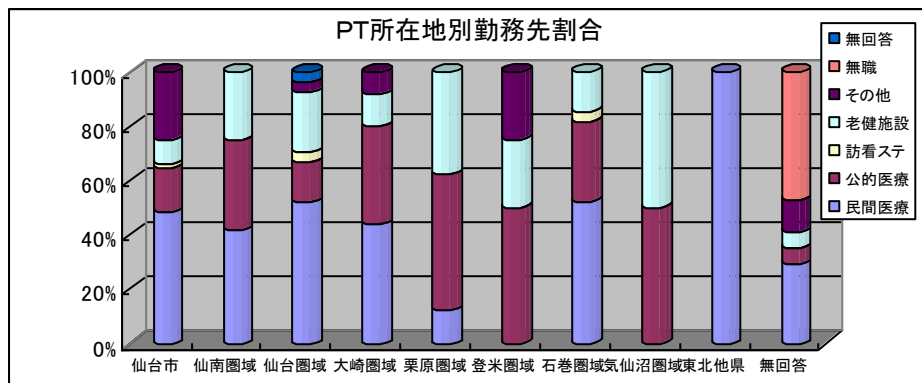


図 1 1 - 5



OT・PTの勤務先を種別毎、所在地毎に見ると、仙台市内に大半が集中していることが分かる。次いで仙台圏域、石巻圏域、大崎圏域、仙南圏域と続き、県北各圏域となっている。これは、OT・PTを比較しても大きな差はない。

平成18年9月末の県内の人口比は、仙台市42.8%、仙台圏域18.8%、石巻圏域9.5%、大崎圏域9.3%、仙南圏域8.2%、気仙沼圏域4.1%、登米圏域3.8%、栗原圏域3.5%となっており、順位は調査の結果とほぼ一致するが、栗原圏域と登米圏域の順位は入れ替わっている。

また、調査では無回答6.3%、他県0.2%があり断定できないが、仙台市、石巻圏域で人口比を勤務所在地割合が上回っているものの、その他は下回っており、仙台市以外での専門職分布が少ないという状況が表れている。勤務先種別も、都市部では民間医療機関、その他の割合が多いが、郡部、特に栗原圏域、登米圏域、気仙沼圏域は、公的医療機関の割合が高くなっている。

表 1 2

OTPT居住地別勤務先住所		勤務先住所(所在地)										
区分	居住地名	仙台市	仙南圏域	仙台圏域	大崎圏域	栗原圏域	登米圏域	石巻圏域	気仙沼圏域	東北他県	無回答	総計
OTPT計	仙台市	200	8	25	6	1	2	4		1	14	261
	仙南圏域	2	14	1							1	18
	仙台圏域	16	2	21	1			2			4	46
	大崎圏域				27	1					1	29
	栗原圏域	1			1	7					1	10
	登米圏域				1		4	1	2			8
	石巻圏域	1			2			34			1	38
	気仙沼圏域								8			8
	隣県	1		1	1	1		1				5
	無回答	8	1	1	0	1	1	2	3		6	23
専門職計		229	25	49	39	11	7	44	13	1	28	446

図 1 2 - 1

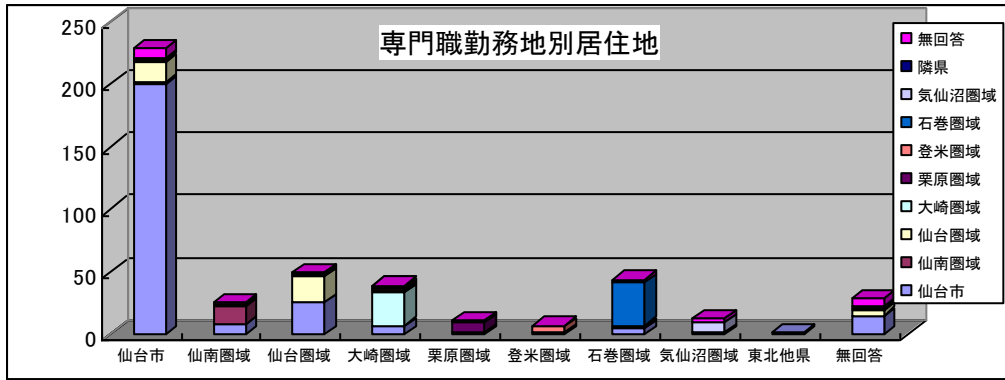


図 1 2 - 2

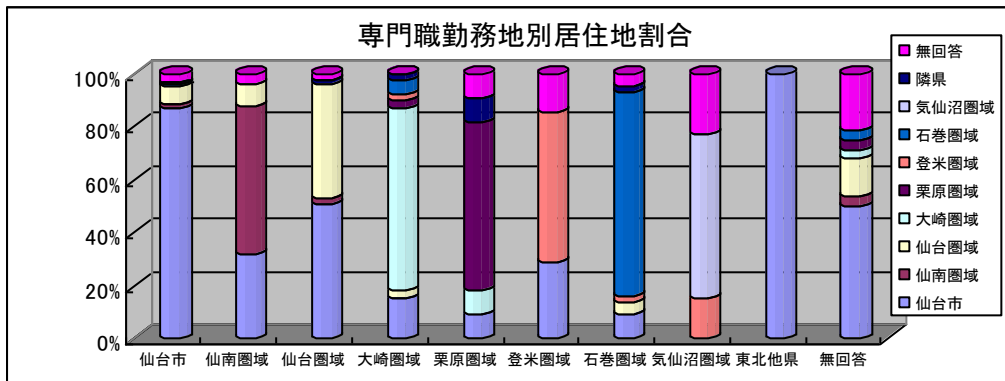


図 1 2 - 3

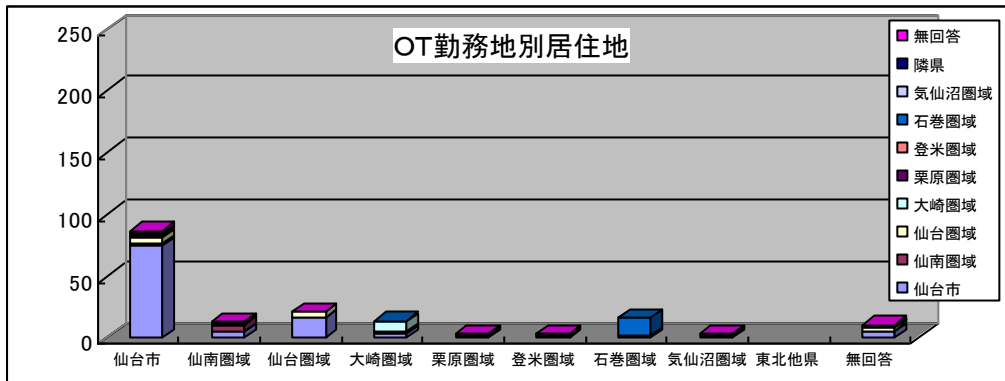
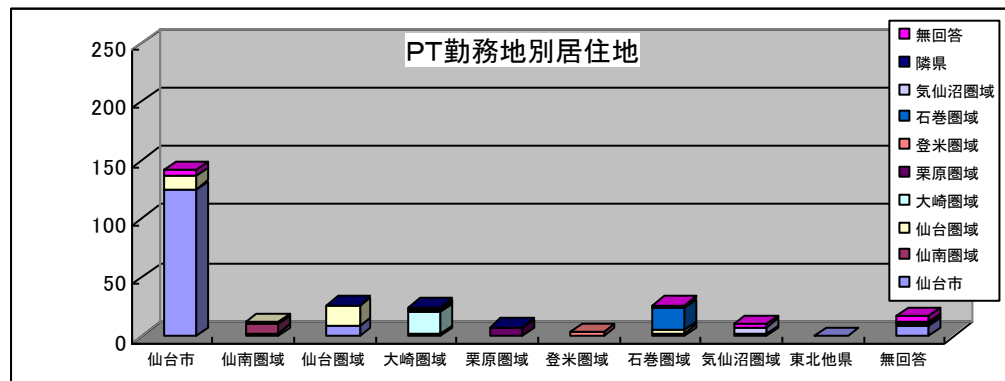


図 1 2 - 4



勤務地別居住地を見ると、勤務先所在地に居住している人の割合、例えば仙台市内に勤務している人のうち仙台市に居住している人の割合は87.3%と、同じように他の圏域で勤務地所在地に居住している人の割合の中では、圧倒的に多い。県内各圏域を同様に見てみると、仙南圏域56.0%、仙台圏域42.9%、大崎圏域69.2%、栗原圏域63.6%、登米圏域57.1%、石巻圏域77.3%、気仙沼圏域61.5%となっている。仙台圏域以外は半数以上が勤務先所在地に居住していることが分かる。

また、OT・PTともに、仙台市に居住して仙台市内に勤務している人の割合が多い。

#### (4) 通算勤務年数について

表 1 3

OTPT男女別通算年数		通算年数							
職種	性別	1年未満	1～2年	3～4年	5～10年	11～15年	16～20年	21年以上	総計
OT	男性	3	3	4	17	9	5	4	45
	女性	15	16	22	43	17	11	4	128
OT計		18	19	26	60	26	16	8	173
PT	男性	17	11	18	32	16	5	24	123
	女性	15	15	25	50	14	20	11	150
PT計		32	26	43	82	30	25	35	273
合計	男性計	20	14	22	49	25	10	28	168
	女性計	30	31	47	93	31	31	15	278
総計		50	45	69	142	56	41	43	446

図 1 3 - 1

図 1 3 - 2

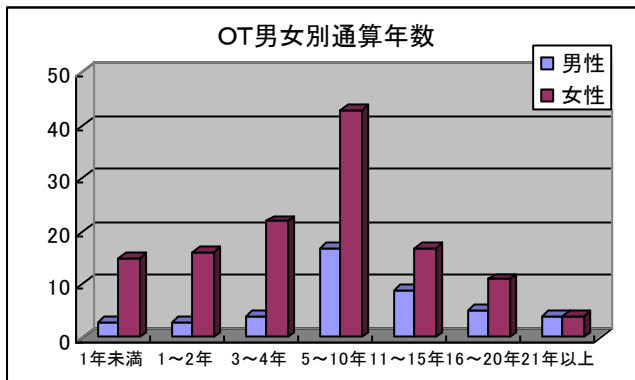


図 1 3 - 3

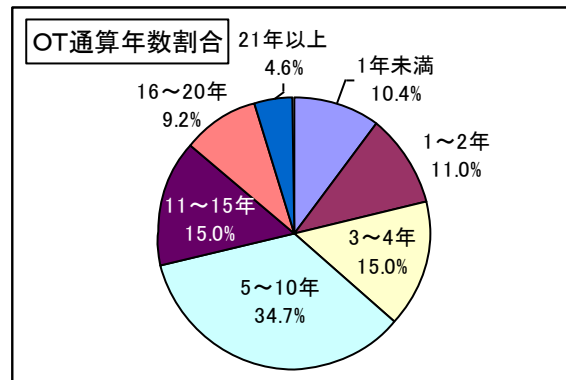


図 1 3 - 4

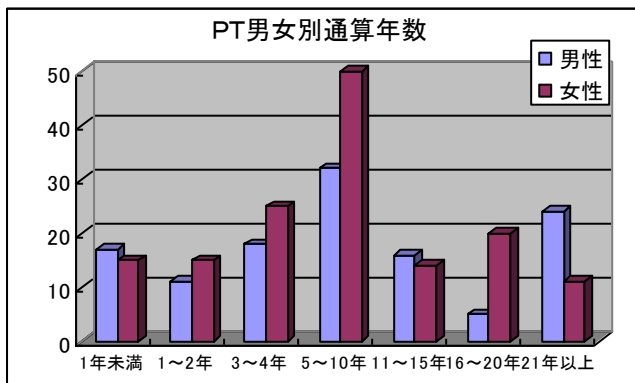


図 1 3 - 3

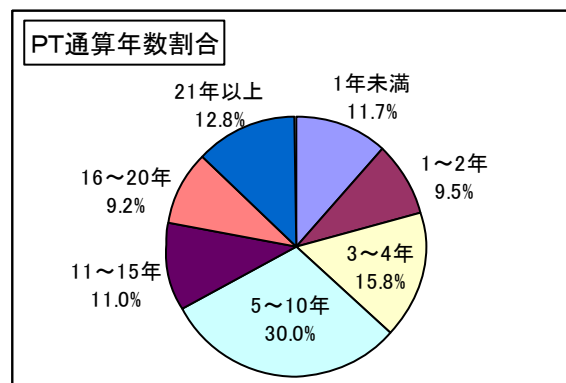


図 1 3 - 4

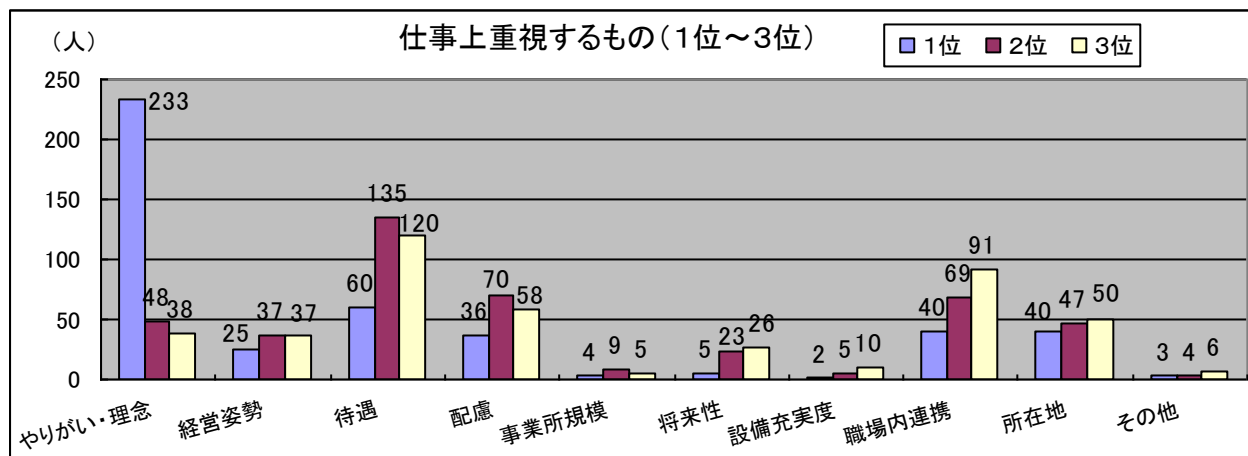
OT・PTは、通算勤務年数10年以内の人が全体の68.6%を占める比較的若い職種と言える。特に5年未満が36.8%と最も多く、5～10年が31.8%と続く5～10年のグループは、立場上年齡的にも人数的にも中核をなしていると言える。

### (5) 仕事上重視するものについて

表14 〈仕事上重視するもの 1位～3位〉

	1位	2位	3位	計
やりがい・理念	233	48	38	319
経営姿勢	25	37	37	99
待遇	60	135	120	315
配慮	36	70	58	164
事業所規模	4	9	5	18
将来性	5	23	26	54
設備充実度	2	5	10	17
職場内連携	40	69	91	200
所在地	40	47	50	137
その他	3	4	6	13
無回答	0	1	7	8
計	448	448	448	1344

図14



仕事をする上で職場等に求めるものについて、1位から3位まで順位を付けて挙げてもらった(表14)。1位の中で一番多かったものは「やりがい・理念」となっている。2位及び3位の中で一番多かったものは「待遇」であった。また、1～3位のいずれかに「やりがい・理念」を挙げた人は319名であり、同様に「待遇」を挙げた人も315名にのぼる。優先順位では「やりがい・理念」が上であったが、「待遇」も重要であると考えられる人も多いことが分かる。



表 1 5

OTPT年齢別工作上最も重視するもの											
年齢	やりがい	経営姿勢	待遇	配慮	事業所規模	将来性	設備充実度	職場内連携	所在地	その他	総計
20～24歳	34	4	6	14	1			12	5	1	77
25～29歳	68	6	18	13	1	2		17	10	1	136
30～34歳	41	6	18	3	1	3	1	8	18		99
35～39歳	37	5	4	5	1		1	1	1		55
40～44歳	28	2	6		1				4	1	41
45～49歳	11	2	3	1				2	2		21
50～54歳	4		2								6
55歳以上	10		3								13
総計	233	25	60	36	4	5	2	40	40	3	448

図 1 5 - 1

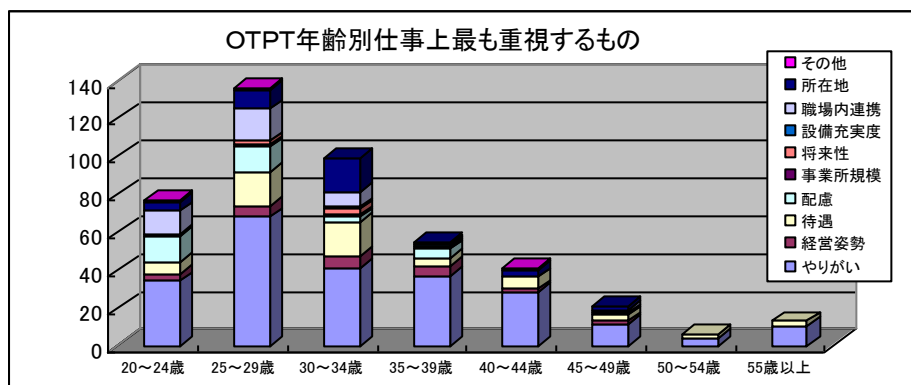
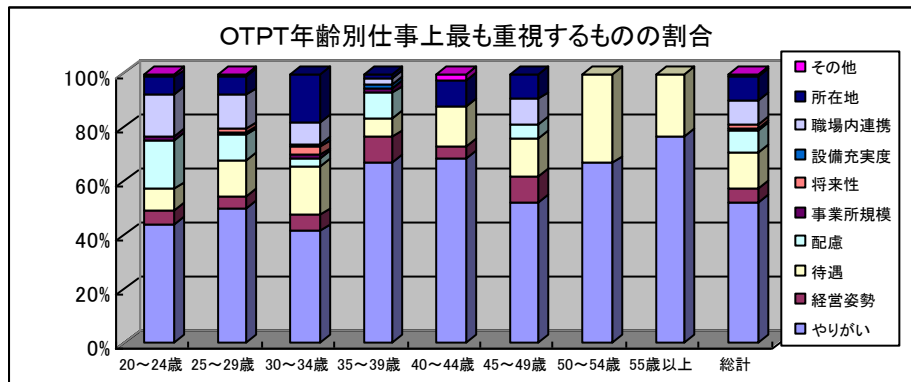


図 1 5 - 2

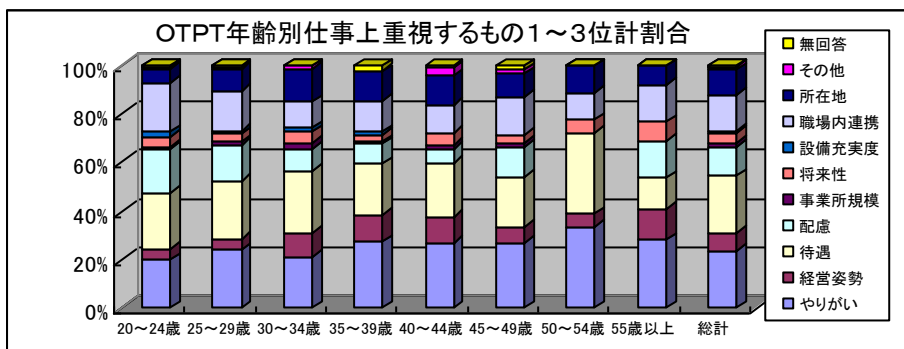


各年代において「やりがい」が多数を占めており、上の年代ほど概ね高い割合である。全体を見ると、「やりがい」が過半数を占め、次いで「待遇」「連携」「所在地」「配慮」の順で続く。

表 1 6

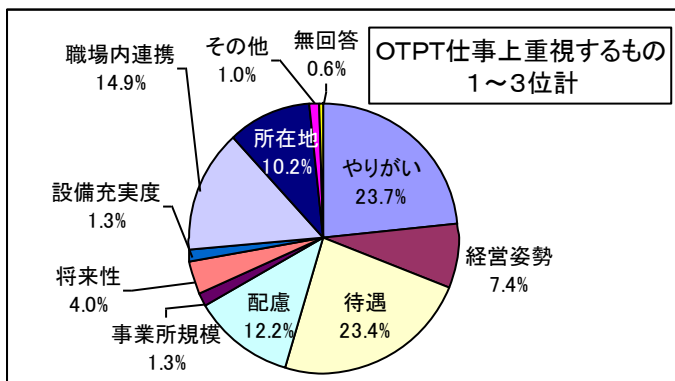
OTPT年齢別仕事上重視するもの1～3位合計												
区分	仕事上重視するもの1～3位合計											
年齢	やりがい	経営姿勢	待遇	配慮	事業所規模	将来性	設備充実度	職場内連携	所在地	その他	無回答	総計
20～24歳	46	10	54	42	2	9	5	47	13	2	1	231
25～29歳	98	19	98	59	6	14	5	68	37	2	2	408
30～34歳	63	29	76	28	6	14	5	32	41	3	0	297
35～39歳	45	18	35	14	1	5	2	21	20	1	3	165
40～44歳	33	13	28	7	2	6	0	14	15	4	1	123
45～49歳	17	4	13	8	1	2	0	10	6	1	1	63
50～54歳	6	1	6	0	0	1	0	2	2	0	0	18
55歳以上	11	5	5	6	0	3	0	6	3	0	0	39
総計	319	99	315	164	18	54	17	200	137	13	8	1344

図 1 6 - 1



「やりがい」は、年代が上がるにつれ、わずかであるが増加している。また、「待遇」は、一部の年代でばらつきが出るものの概ね各年代毎の大きな差はない。

図 1 6 - 2



重視するものの1位では、「やりがい」が圧倒的に多かったが、1位から3位の総計で見ると、「やりがい」と「待遇」の差はほとんどない。

上位1位2位の半数よりやや多い程度だが、「連携」「配慮」「所在地」を重視している点も注目される。

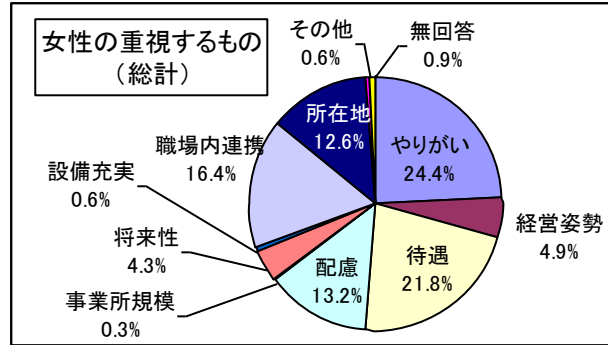
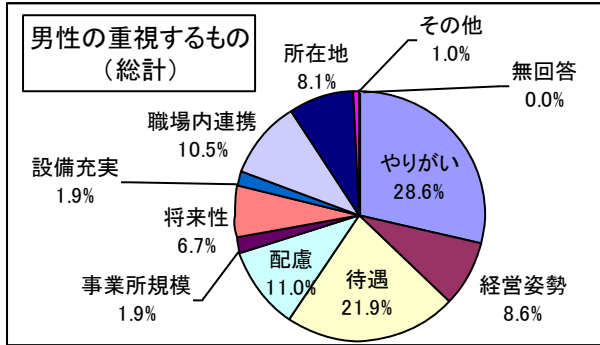
事業所に関することより、自身に関することや仕事の態勢について重視している。

表 1 7

男女別重視するもの(1位～3位総計)												
区分	男女別重視するもの1位～3位総計											
性別	やりがい	経営姿勢	待遇	配慮	事業所規模	将来性	設備充実	職場内連携	所在地	その他	無回答	総計
男性	137	46	119	61	8	23	8	63	32	6	1	504
女性	182	53	196	103	10	31	9	137	105	7	7	840
総計	319	99	315	164	18	54	17	200	137	13	8	1344

図 1 7 - 1

図 1 7 - 2



男女別を見てみると、どの項目もほぼ同じ割合となっているが、女性の「職場内連携」「所在地」は男性より数ポイント高い割合となっている。

## (6) 現在の仕事の満足度について

表 1 8 〈満足度別〉

図 1 8 - 1

図 1 8 - 2

満足度	人
満足している	186
満足していない	239
無回答	23
計	448

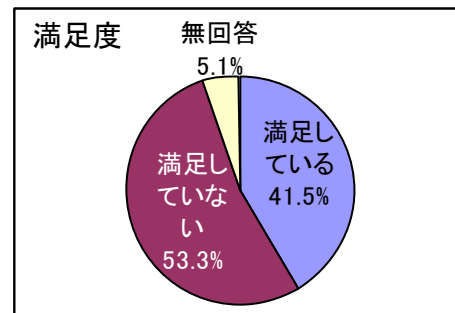
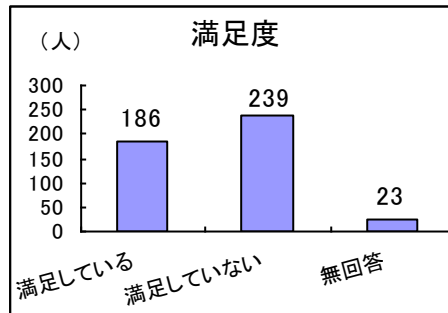


表 1 8 及び図 1 8 各種を見ると、現在の職場での満足度について 186 名 (41.5%) が満足しており、半数以上の 239 名 (53.3%) は満足していないことが分かる。現在の仕事・勤務先に対するの改善要望や仕事をする上で悩みを持っている人の結果が表 2 1～2 4 及び表 3 7～3 9 に出ているが、これらが現在の職場に不満を持つ要因の一つと考えられる。

表 1 9

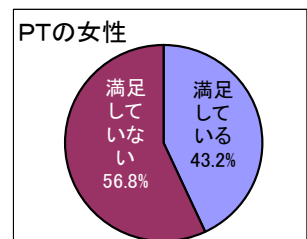
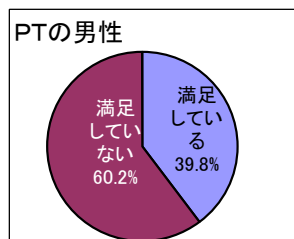
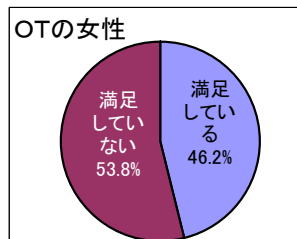
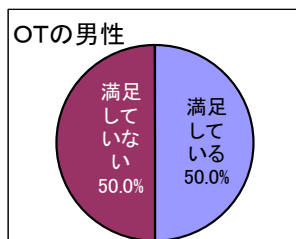
OTPT男女別職場満足度		現在の職場の満足度			
職種	性別	満足している	満足していない	無回答	総計
OT	男性	21	21	3	45
	女性	55	64	9	128
OT計		76	85	12	173
PT	男性	49	74		123
	女性	60	79	11	150
PT計		109	153	11	273
合計	男性計	70	95	3	168
	女性計	115	143	20	278
総計		185	238	23	446

図 1 9 - 1

図 1 9 - 2

図 1 9 - 3

図 1 9 - 4



男女所別職種別に見てみると、OT・PTの男女ともに満足していない人が半数以上に達した。

(7) 職場への改善要望について

表 2 0 〈改善要望別〉 図 2 0 - 1

改善要望	人
有り	320
無し	107
無回答	21
計	448

図 2 0 - 2

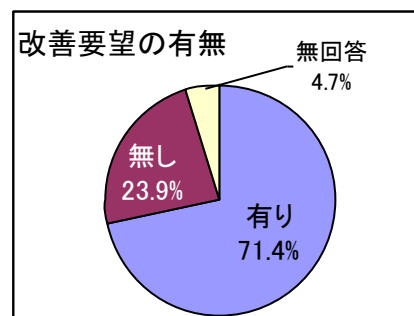
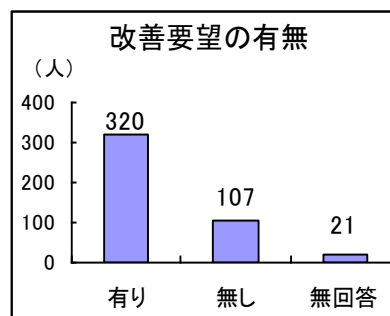


図 2 0 - 3

図 2 0 - 4

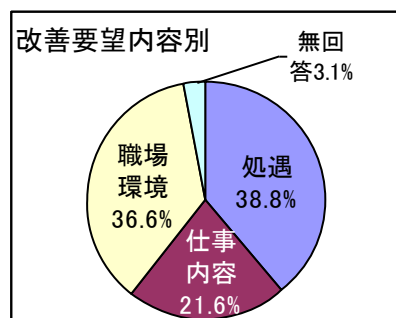
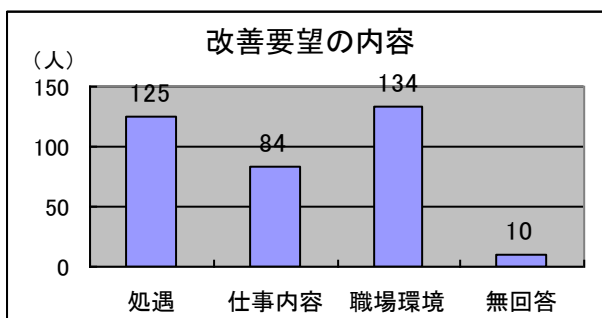


図 20-5

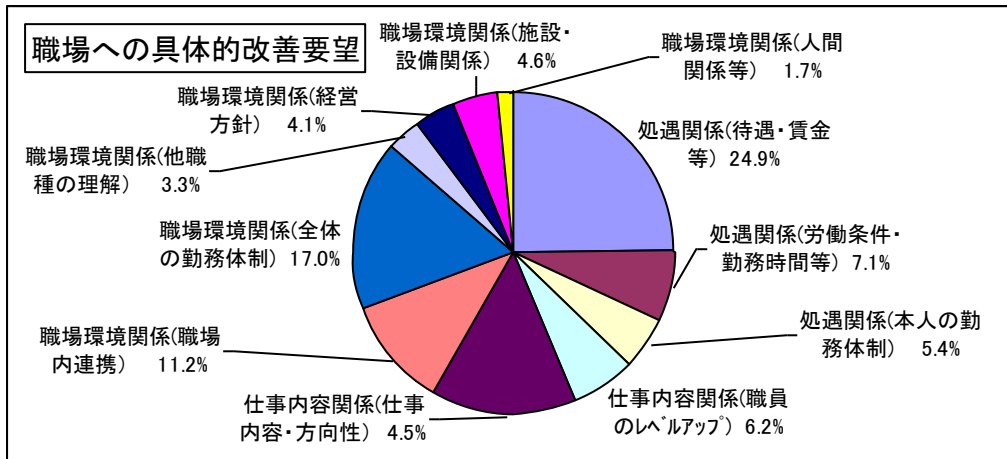


表 20 及び図 20 各種によると、職場への改善要望を持っている人は 320 名おり、全体の 71.4% となっている。また、図 21-4 の改善要望の内容を見ると 38.8% の人が「処遇」について要望していることが分かる。次いで「職場環境」についての要望が 36.6%、「仕事内容」についての要望が 21.6% となっている。要望の具体的内容の割合については、図 20-5 のとおりである。一番多いのは「処遇関係」の「待遇・賃金等」であり、24.9% を占めている。また、「職場環境関係」の「全体の勤務体制」についてが 17.0% となっている。

表 21

区分	要望内容詳細												無回答	総計
	処遇			仕事内容		職場環境			その他					
性別	待遇・賃金	労働条件等	本人勤務体制	レベルアップ	仕事内容	職場内連携	全体勤務体制	他職種理解	経営方針	施設設備	人間関係			
男性計	31	8	7	4	16	6	12	4	6	1	2	71	168	
女性計	29	9	6	11	19	21	30	4	4	10	2	135	280	
総計	60	17	13	15	35	27	42	8	10	11	4	206	448	

図 21-1

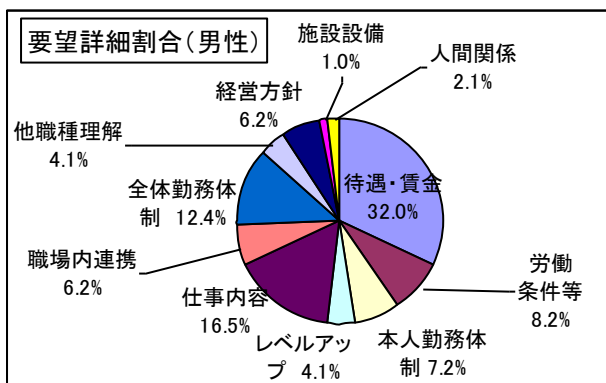
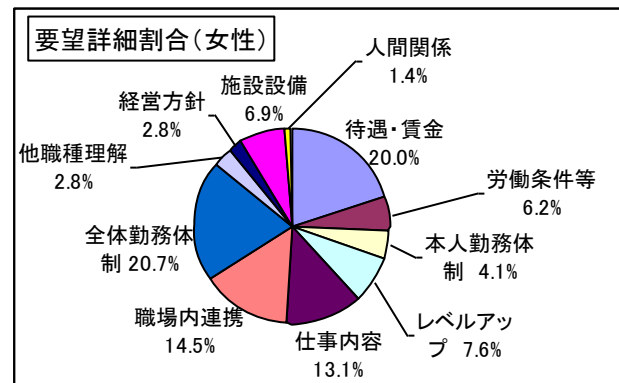


図 21-2



職場への要望内容の詳細を見ると、男女では大きく異なる点が見える。男性では「待遇・賃金」が 32.0% と 1 位であるのに対して、女性では 20.0% と 2 位であり、1 位は僅差ながら「全体の勤務体制」の 20.7% となっている。男性では「全体の勤務体制」は 12.4% で「仕事内容等不満」の 16.5% に次いで 3 位である。

また、「職場内連携」も男性が6.2%なのに対し、女性は14.5%と2倍以上である等、多くの点で男性と女性の職場や仕事に対する意識の違いが現れている。

表22

OTPT別職場への要望内容詳細												
区分	要望内容詳細											
職種	処遇			仕事内容			職場環境					総計
	待遇・賃金	労働条件等	本人勤務体制	レベルアップ	仕事内容	職場内連携	全体勤務体制	他職種理解	経営方針	施設設備	人間関係	
OT計	24	4	4	7	16	10	13	3	2	3	1	87
PT計	36	13	9	8	19	17	29	5	8	8	3	155
総計	60	17	13	15	35	27	42	8	10	11	4	242

図22-1

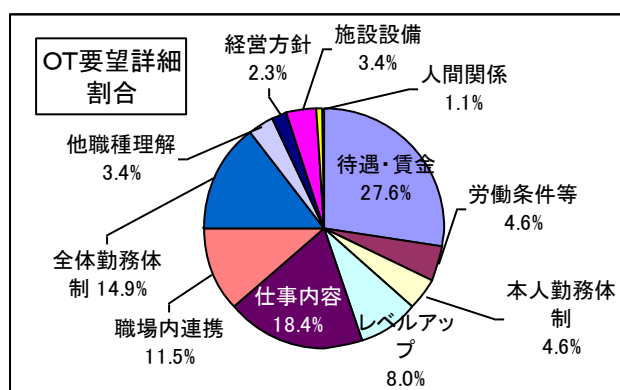
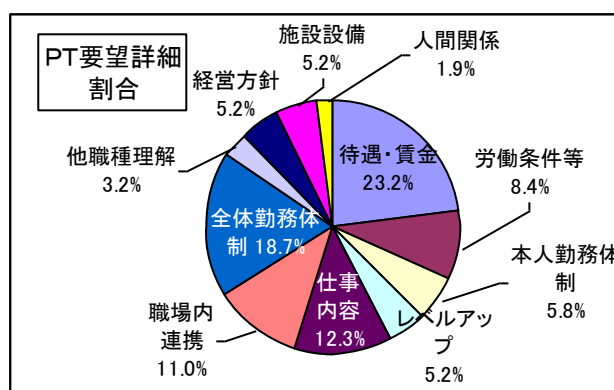


図22-2



要望内容の詳細を見ると、OT・PTともに「待遇・賃金」の割合が高く、次いでOTでは「仕事内容」「全体の勤務体制」と続き、PTではこれが「全体の勤務体制」「仕事内容」の順に逆転する。

ここでは、表や図に表してはいないが、若い年代では「待遇・賃金」の割合が多く、「全体の勤務体制」や「職場内連携」もやや目立つ。「仕事内容」は、OTでは若い年代にも多く見られるが、PTではむしろ高い年齢層でやや割合が高くなっている。

表23

OTPT男女別職場への要望内容詳細													
区分	要望内容詳細												
職種	性別	処遇			仕事内容			職場環境					総計
		待遇・賃金	労働条件等	本人勤務体制	レベルアップ	仕事内容	職場内連携	全体勤務体制	他職種理解	経営方針	施設設備	人間関係	
OT	男性	4	1	4	1	6	1	3	2	1	1	24	
	女性	20	3	0	6	10	9	10	1	1	3	63	
OT計		24	4	4	7	16	10	13	3	2	3	87	
PT	男性	27	7	3	3	10	5	9	2	5	1	73	
	女性	9	6	6	5	9	12	20	3	3	7	82	
PT計		36	13	9	8	19	17	29	5	8	8	155	
合計	男性計	31	8	7	4	16	6	12	4	6	1	97	
	女性計	29	9	6	11	19	21	30	4	4	10	145	
総計		60	17	13	15	35	27	42	8	10	11	242	

図 2 3 - 1

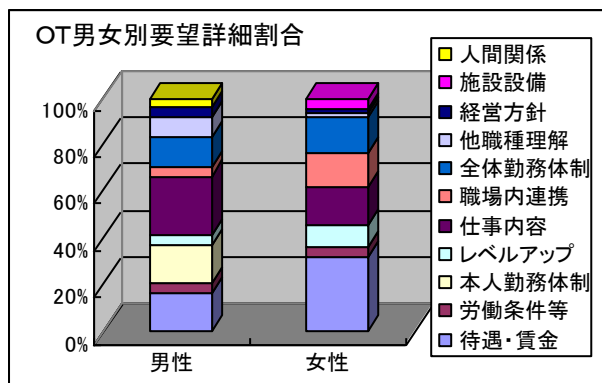
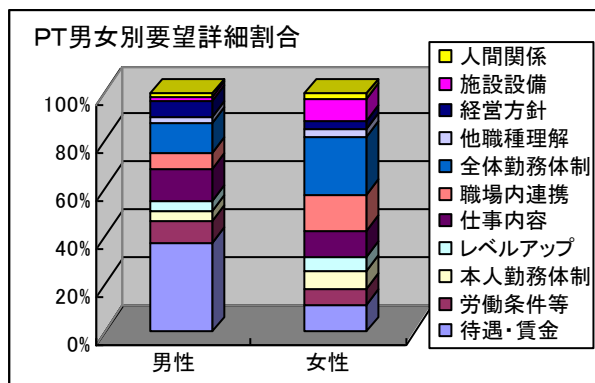


図 2 3 - 2



職種別男女別に見てみると、OTの女性では「待遇・賃金」「全体の勤務体制」「仕事内容」「職場内連携」の順が、OTの男性では「仕事内容」「本人の勤務体制」「待遇・賃金」「全体の勤務体制」となり、PTの女性では「全体の勤務体制」「職場内連携」「仕事内容」「待遇・賃金」の順が、PTの男性では「待遇・賃金」「仕事内容」「全体の勤務体制」「労働条件等」の順になる等、それぞれに全く違う特徴が表れる。

表 2 4

満足度別改善要望の有無					
職種別	満足度	改善要望有り	改善要望無し	無回答	総計
OT	満足している	42	32	2	76
	満足していない	75	9	1	85
集計		117	41	3	161
PT	満足している	64	43	2	109
	満足していない	134	18	1	153
集計		198	61	3	262
総計		315	102	6	423

図 2 4 - 1

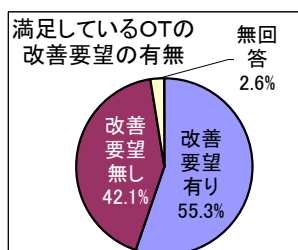


図 2 4 - 2

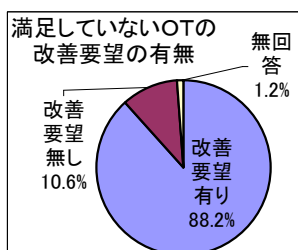


図 2 4 - 3

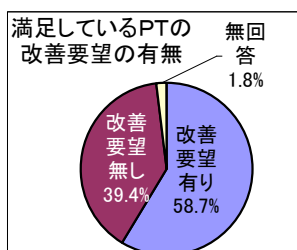
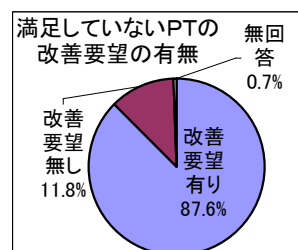


図 2 4 - 4



現在の職場への改善要望の有無を職種別満足度別に見ると、OT・PTともに、満足していない人は改善要望有りの割合が8割を超え、圧倒的な多さである。また、OT・PTともに、満足している人でも改善要望の割合が5割以上となっている。

表 2 5

満足度別改善要望の詳細		処遇関係			仕事内容関係			職場環境関係					総計
職種別	満足度	待遇・賃金等	労働条件・勤務時間	本人の勤務体制	職員のレベルアップ	仕事内容・方向性	職場内連携	全体の勤務体制	他職種の理解	経営方針	施設・設備関係	人間関係等	
OT	満足している	12	2	3	3	2	2	5	1		1		31
	満足していない	12	2	1	4	14	8	7	2	2	2	1	55
集計		24	4	4	7	16	10	12	3	2	3	1	86
PT	満足している	9	3	3	2	3	8	11	2	2	3	1	47
	満足していない	25	10	6	6	16	9	18	3	5	5	2	105
集計		34	13	9	8	19	17	29	5	7	8	3	152
総計		58	17	13	15	35	27	41	8	9	11	4	238

図 2 5 - 1

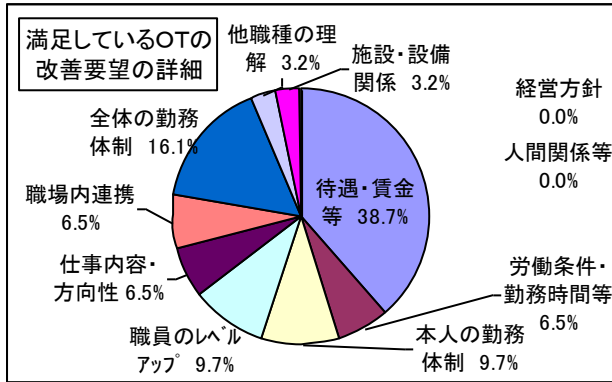


図 2 5 - 2

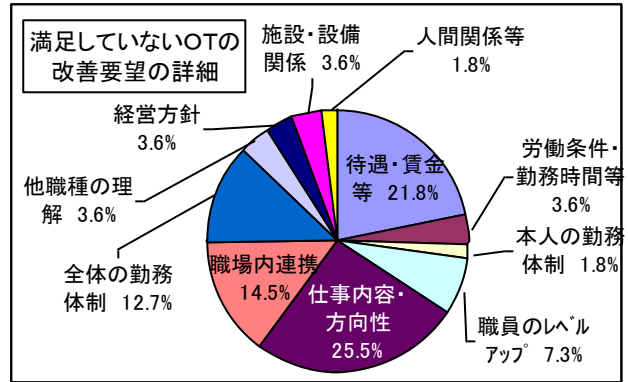


図 2 5 - 3

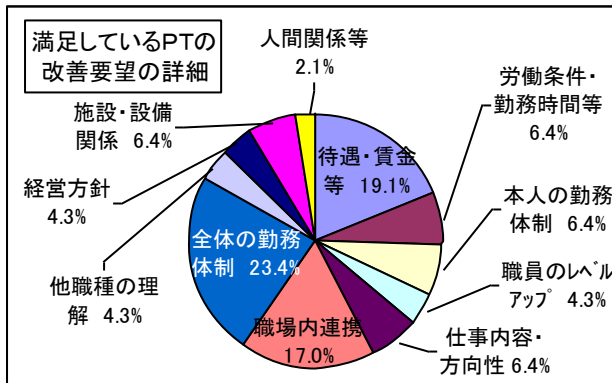
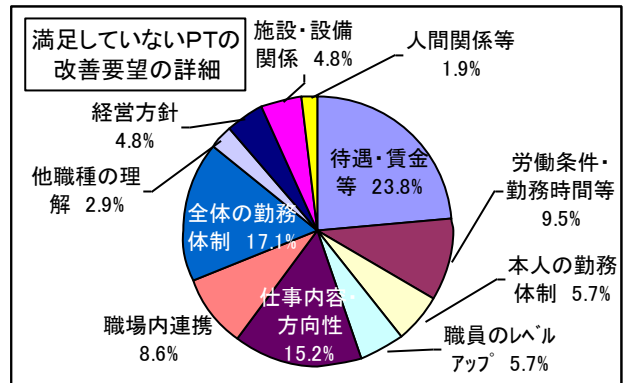


図 2 5 - 4



改善要望の詳細を見てみると、満足しているOTは「待遇・賃金」の割合が38.7%と一番高い。満足していないOTでは「仕事内容・方向性」が25.5%となっており、他よりも高い。満足しているPTでは、「全体の勤務体制」が23.4%と高く、これは他よりも特に高い割合となっている。満足していないPTでは「待遇・賃金」が23.8%と一番高い。



表 2 6

満足度別改善要望の有無					
区分		改善要望			
性別	満足の有無	要望有り	要望無し	無回答	総計
男性	満足している	39	29	2	70
	満足していない	80	14	1	95
	無回答		3		3
集計		119	46	3	168
女性	満足している	67	47	2	116
	満足していない	130	13	1	144
	無回答	4	1	15	20
集計		201	61	18	280
総計		320	107	21	448

図 2 6 - 1

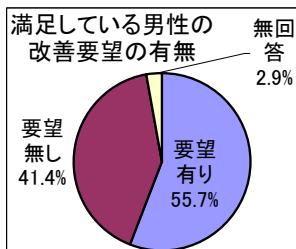


図 2 6 - 2

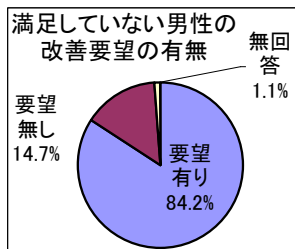


図 2 6 - 3

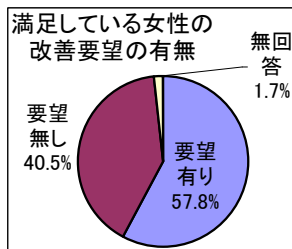
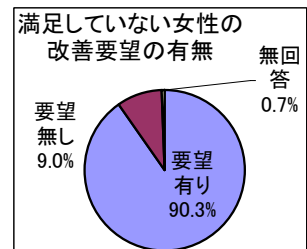


図 2 6 - 4



男女別満足度別で見ると、男女とも満足していない人の8割以上に改善要望が有ることが分かる。また、男女ともに、満足していても5割以上の方が改善要望が有ると回答している。

表 2 7

改善要望の詳細													
区分		処遇			仕事内容			職場環境					総計
性別	満足の有無	待遇・賃金	労働条件等	本人勤務体制	レベルアップ	仕事内容	職場内連携	全体勤務体制	他職種の理解	経営方針	施設設備	人間関係	
男性	満足している	6	1	4	2	3	3	6	2	2			29
	満足していない	25	7	3	2	13	3	6	2	4	1	2	68
	無回答												0
集計		31	8	7	4	16	6	12	4	6	1	2	97
女性	満足している	15	4	2	3	2	7	10	1		4	1	49
	満足していない	12	5	4	8	17	14	19	3	3	6	1	92
	無回答	2						1		1			4
集計		29	9	6	11	19	21	29	4	4	10	2	144
総計		60	17	13	15	35	27	42	8	10	11	4	242

図 2 7 - 1

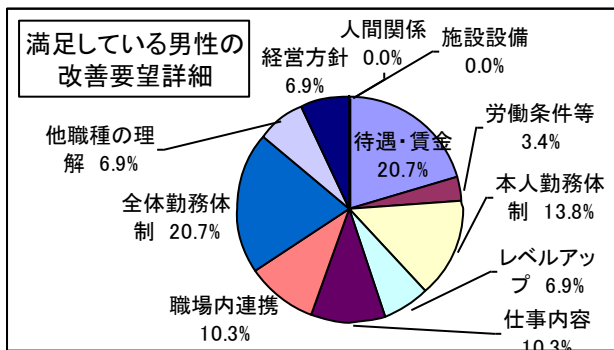


図 2 7 - 2

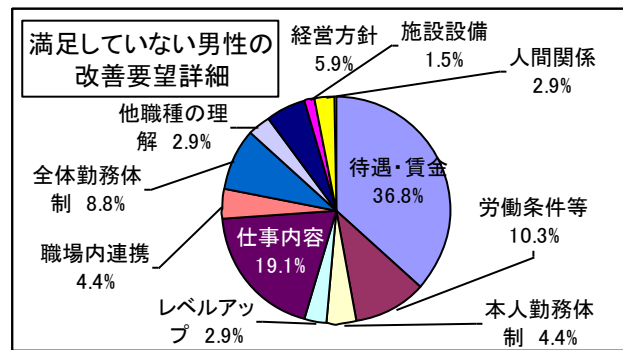


図 27-3

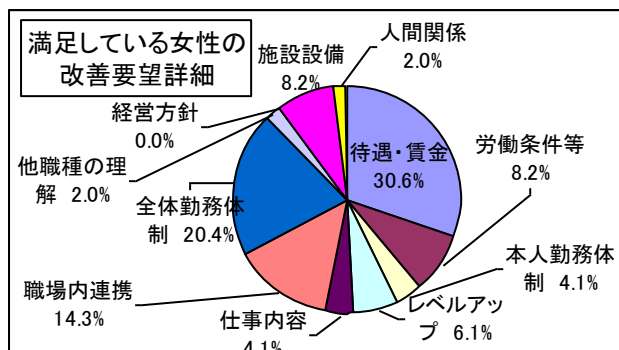
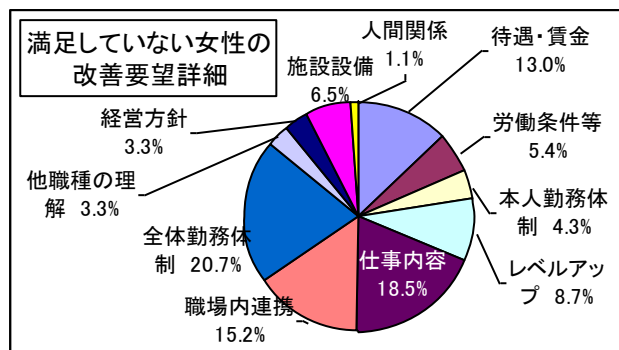


図 27-4



男女別満足度別に見てみると、満足している男性では「待遇・賃金」と「全体の勤務体制」が20.7%と同率で一番高い。満足していない男性が要望しているのは「待遇・賃金」が36.6%と一番高く、これは満足している男性と同じ結果となっている。ただ、満足していない男性の方が割合は高い。

満足している女性でも「待遇・賃金」の割合が一番高く、30.6%となっている。満足していない女性では「全体の勤務体制」が20.7%と一番高い割合になっている。

(8) 転職について

表 28

図 28-1

図 28-2

〈転職経験の有無別〉

転職有無	人
有り	190
無し	255
無回答	3
計	448

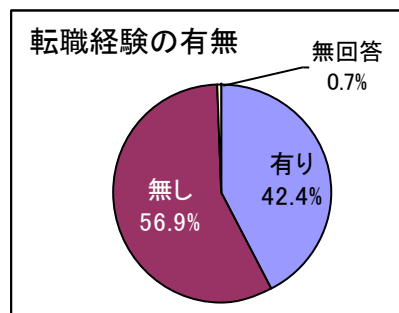
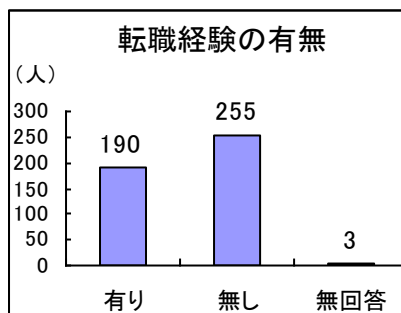


表 29 〈転職回数別〉 図 29-1

転職回数	人
1回	98
2回	39
3回	27
4回	12
5回	3
6回	1
無回答	10
計	190

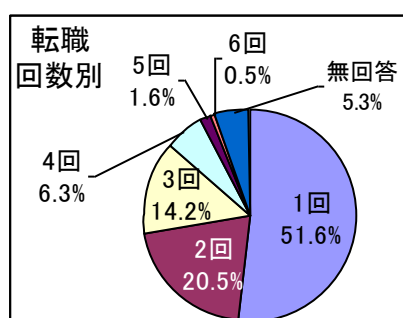


図 2 9 - 2

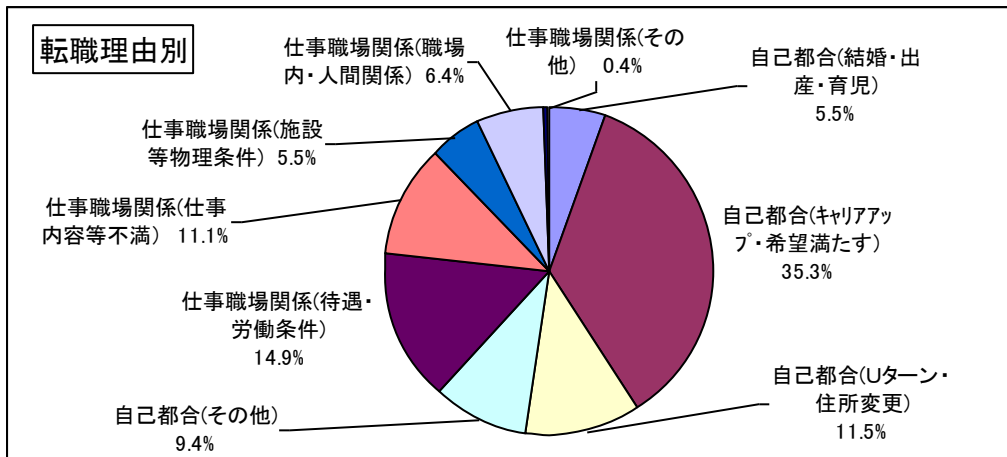


表 2 8 及び図 2 8 各種で転職経験の有無をみると、1 9 0 名 ( 4 2 . 4 %) に転職経験があるという結果になった。図 2 9 - 1 の転職回数をみると、1 回が 5 1 . 6 % ，次いで 2 回が 2 0 . 5 % となっている。図 2 9 - 2 に転職の理由について示したが、「自己都合 ( キャリアアップや自分の希望を満たす ) 」という理由が一番多く、 3 5 . 3 % を占めた。次いで「仕事職場関係 ( 待遇・労働条件 ) 」となっている。これは、表 1 5 の「仕事上重要視するもの」と重なる。

表 3 0

区分	転職理由										無回答	総計
	自己都合				仕事・職場関係							
職種	結婚・出産等	キャリアアップ等	Uターン・転居等	その他都合	待遇・労働条件	仕事内容等不満	施設等物理条件	職場内・人間関係	仕事その他			
OT計	7	32	9	8	20	14	4	5	1	73	173	
PT計	6	51	18	14	15	11	9	10		139	273	
総計	13	83	27	22	35	25	13	15	1	212	446	

図 3 0 - 1

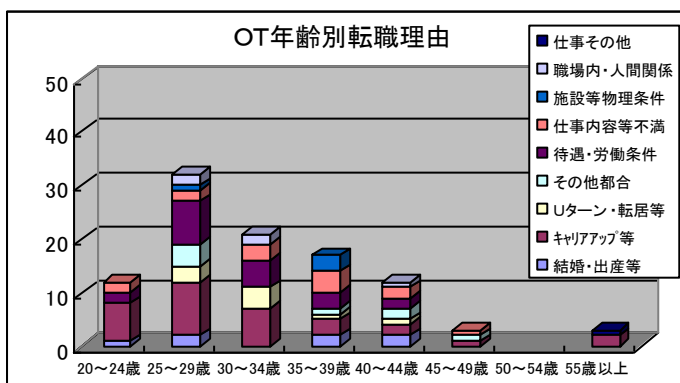


図 3 0 - 2

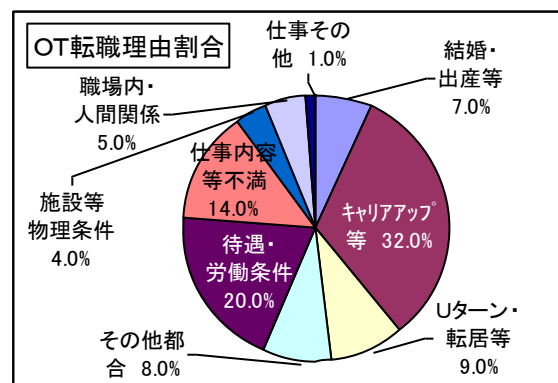


図 30-3

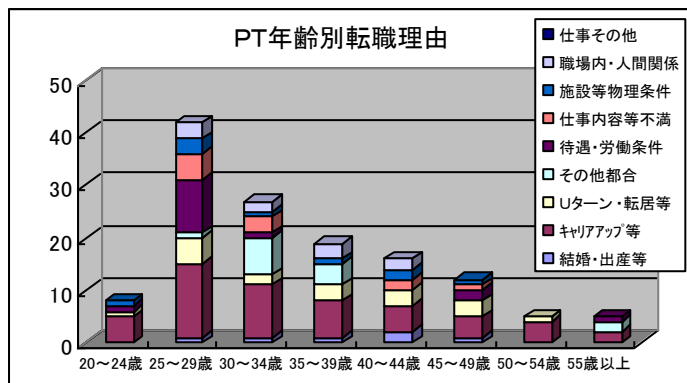
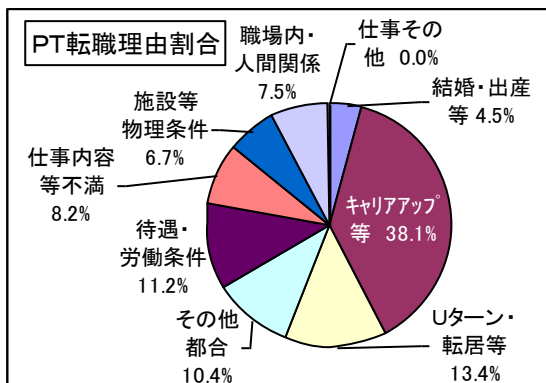


図 30-4



転職理由の傾向はOT・PTとも似たものと言えるが、両者で転職理由の割合を比較してみると、OTで「待遇・労働条件」「仕事内容等不満」がPTより高いのに対し、PTでは「キャリアアップ等」「Uターン・転居等」「施設等物理条件」「職場内人間関係」がOTより高くなっている。

年齢別に見ると、PTでは各年代において「キャリアアップ」や「Uターン・転居等」が一定割合で含まれるのに対し、OTでは同じ項目が35歳未満では多いものの、35歳以上では少なくなっている。逆に、OTではコンスタントに見られる「待遇・労働条件」や「仕事内容等不満」が、PTでは年代によってばらつきがある。

表 3 1

男女別転職理由											
区分	転職理由									無回答	総計
性別	自己都合				仕事・職場関係						
	結婚・出産等	キャリアアップ等	Uターン・転居等	その他都合	待遇・労働条件	仕事内容等不満	施設等物理条件	職場内・人間関係	仕事その他		
男性計	2	41	14	9	18	11	5	7	1	61	168
女性計	11	42	13	13	17	15	8	8	1	152	280
総計	13	83	27	22	35	26	13	15	1	213	448

図 31-1

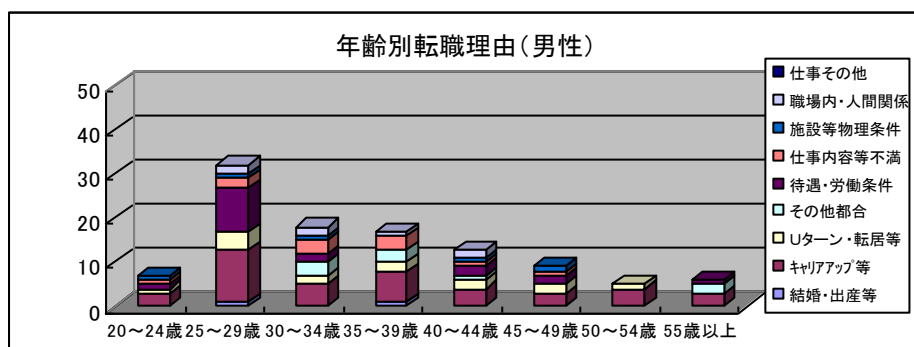


図 3 1 - 2

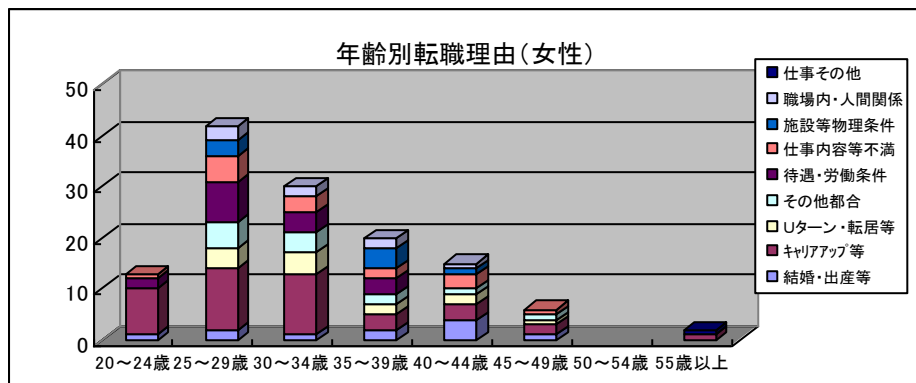


図 3 1 - 3

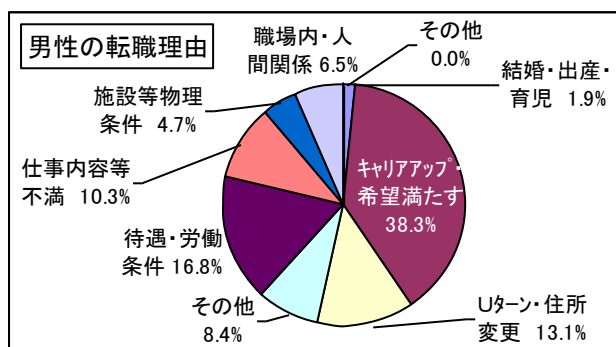
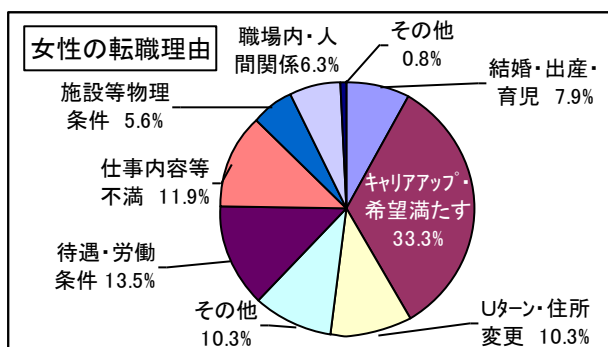


図 3 1 - 4



転職理由の割合で、男女の大きな違いは「結婚・出産・育児」である。また、両者とも「キャリアアップ・希望を満たす」「待遇・労働条件」が多く、次いで「Uターン・住所変更」や「仕事内容等不満」になっている。

表 3 2

男女別最も重視するもの別転職理由		転職理由									総計
性別	最も重視するもの	自己都合				仕事・職場関係					
		結婚・出産等	キャリアアップ等	Uターン・転居等	その他都合	待遇・労働条件	仕事内容等不満	施設等物理条件	職場内・人間関係	仕事その他	
男性	やりがい	1	28	8	3	7	6		4		57
	経営姿勢		3	1	2	2	2		1		11
	待遇	1	5	3	1	5		1	1		17
	配慮		3	2		3					8
	事業所規模						1				1
	将来性		2			1					3
	設備充実度										
	職場内連携					1		2			3
	所在地					1			4	1	6
	その他					1					1
男性合計		2	41	14	9	18	11	5	7	107	
女性	やりがい	6	23	9	7	5	10	5	1		66
	経営姿勢		1		1	2					4
	待遇	1		3	2	4	2	1	2	1	16
	配慮	1	6		1	1		1			10
	事業所規模						2				2
	将来性						1				1
	設備充実度										
	職場内連携		7				3	1		2	13
	所在地	3	5	1	2			1	1	3	16
	その他										
女性合計		11	42	13	13	17	15	8	8	1	128
総計		13	83	27	22	35	26	13	15	1	235

図 3 2 - 1

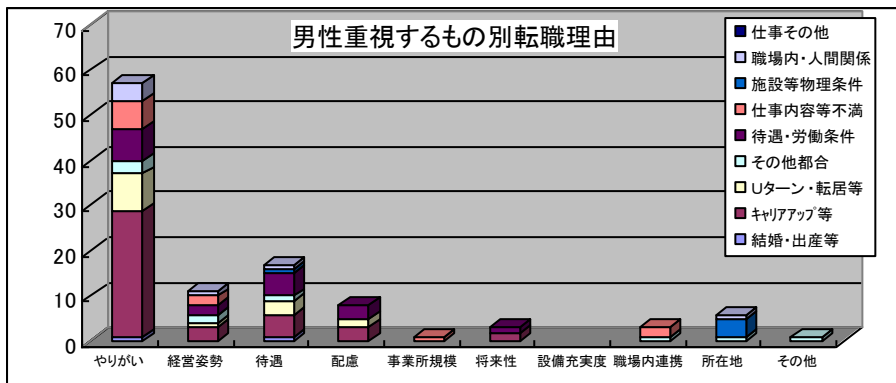


図 3 2 - 2

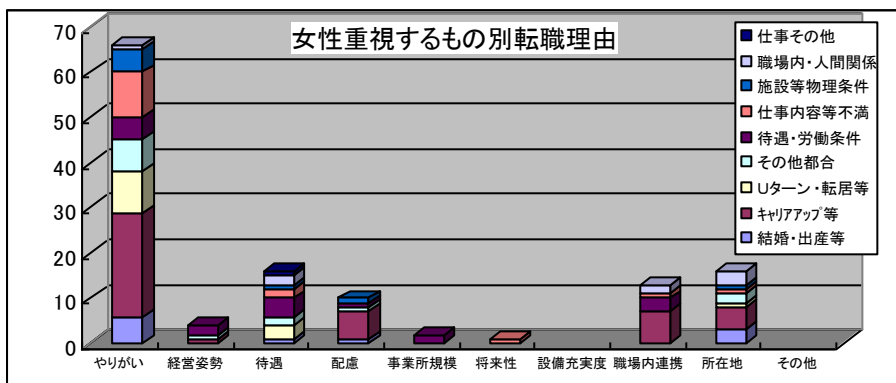


図 3 2 - 3

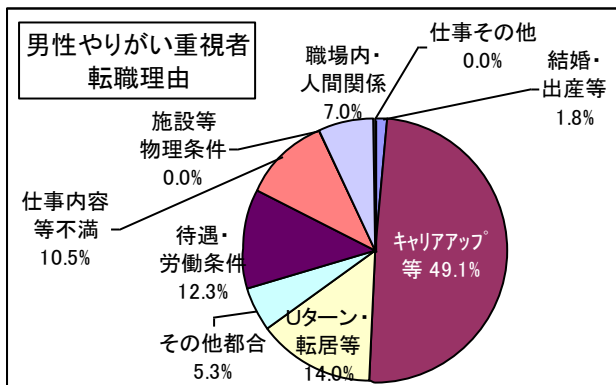


図 3 2 - 4

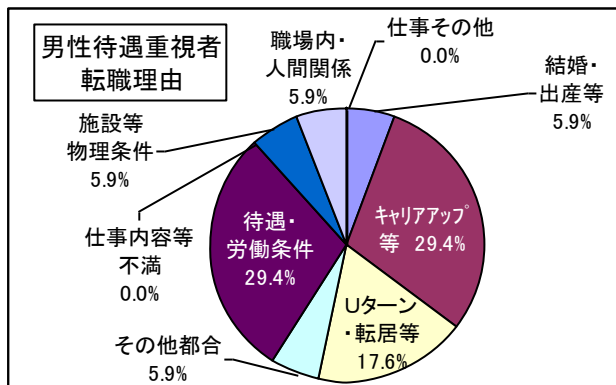


図 3 2 - 5

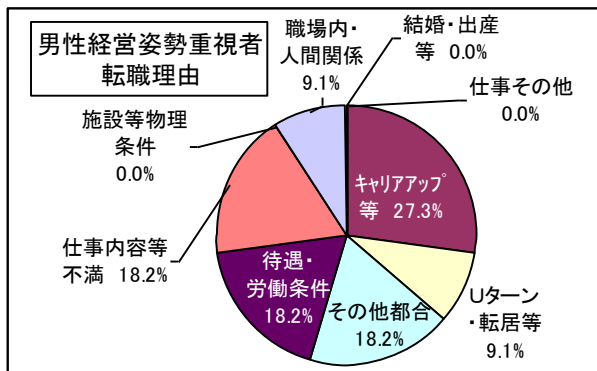


図 3 2 - 6

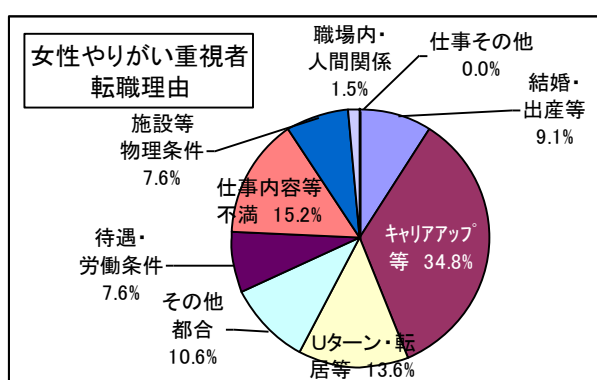


図 3 2 - 7

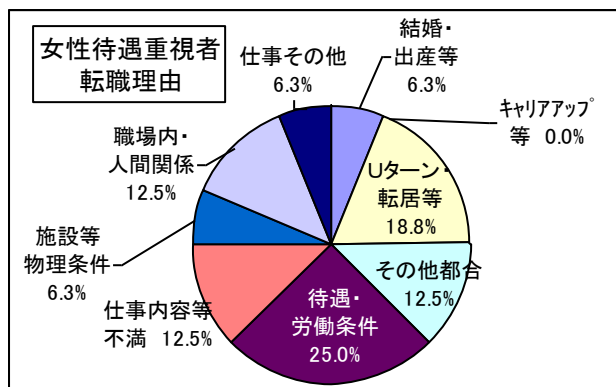
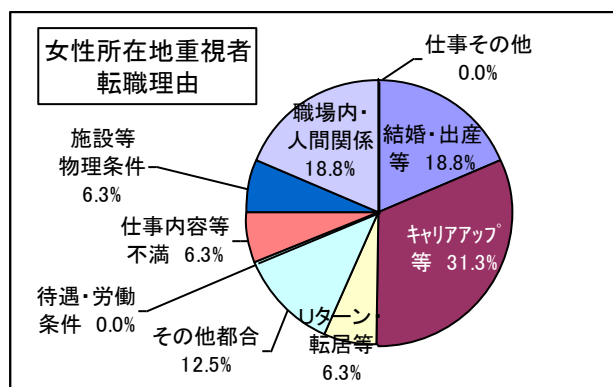


図 3 2 - 8



男女別に最も重視するもの別転職理由を見ると、両者とも「やりがい」が最も多く、次いで「待遇」となっているが、それ以降は男女で順位が異なる。

「やりがい」重視では、男性は「キャリアアップ等」が49.1%、「Uターン・転居等」14.0%、「待遇・労働条件」12.3%であるが、女性は「キャリアアップ等」34.8%、「仕事内容等不満」15.2%、「Uターン・転居等」13.6%で、男性に比べ「施設等物理条件」「結婚・出産・育児」も高くなっている。

「待遇」重視では、男性は「キャリアアップ等」29.4%、「待遇・労働条件」29.4%、「Uターン・転居等」17.6%に対し、女性は「待遇・労働条件」25.0%、「仕事内容等不満」12.5%、「人間関係」12.5%、「その他都合」12.5%となっている。

次いで男性で高い「経営姿勢」重視では、「キャリアアップ等」27.3%、「待遇・労働条件」18.2%、「仕事内容等不満」18.2%に対し、女性で高い「所在地」では「キャリアアップ等」31.3%、「結婚・出産・育児」18.8%、「人間関係」18.8%となっている。

表 3 3

〈転職希望の有無〉

転職希望	人
有り	86
無し	129
無回答	40
計	255

図 3 3 - 1

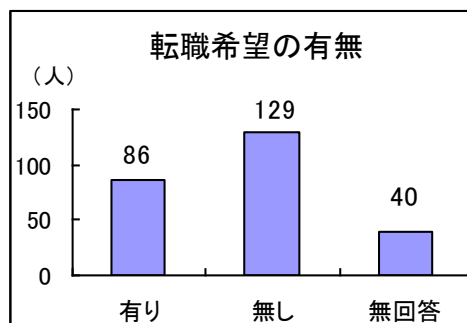
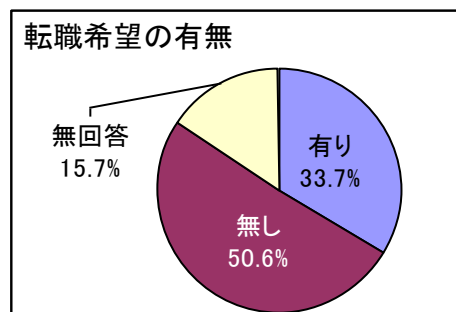


図 3 3 - 2



転職経験のない人(255名)に対して転職希望の有無を調査したところ、表 3 4 及び図 3 4 各種のとおり 86 名 (33.7%) が転職を希望しているという結果になった。

表 3 4

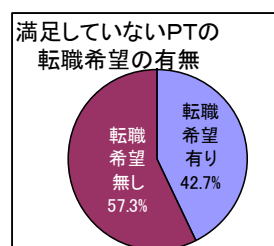
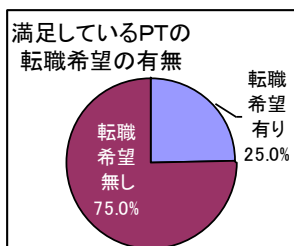
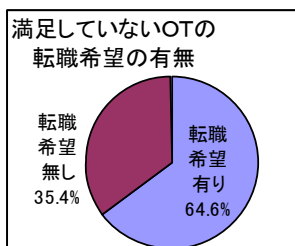
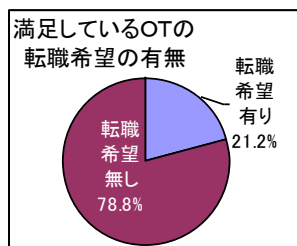
職種別満足度別転職希望の有無				
職種別	満足度	転職希望有り	転職希望無し	総計
OT	満足している	7	26	33
	満足していない	31	17	48
集計		38	43	81
PT	満足している	12	36	48
	満足していない	35	47	82
集計		47	83	130
総計		85	126	211

図 3 4 - 1

図 3 4 - 2

図 3 4 - 3

図 3 4 - 4



職種別満足度別に見ると、OT・PTともに満足している人より満足していない人に転職希望が多いことが分かる。特に満足していないOTの転職希望率は64.6%と高い。また、OT・PTともに満足していても20%以上の方が転職を希望している。

表 3 5

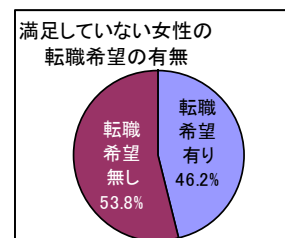
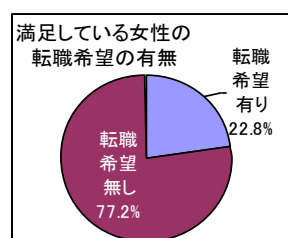
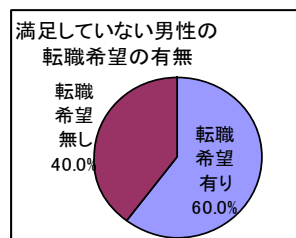
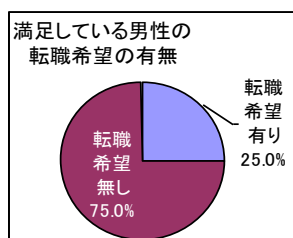
男女別満足度別転職希望の有無				
性別	満足度別	転職希望有り	転職希望無し	総計
男性	満足している	6	18	24
	満足していない	24	16	40
集計		30	34	64
女子	満足している	13	44	57
	満足していない	42	49	91
集計		55	93	148
総計		85	127	212

図 3 5 - 1

図 3 5 - 2

図 3 5 - 3

図 3 5 - 4



男女別満足度別で見ると、男女とも満足している人より満足していない人に転職希望が多い。その中でも特に満足していない男性の転職希望率は60.0%と高い。また、満足していても男女ともに20%以上の方が転職を希望していることが分かる。

この結果は、職種別も男女別も同様の傾向を示している。



## (9) 仕事上の悩みについて

表 3 6 〈仕事上の悩み概要〉

仕事上の悩み概要分類(記述式)	人
自分自身関係	57
専門職関係	10
職場関係	121
その他	48
合計	236

図 3 6 - 1

図 3 6 - 2

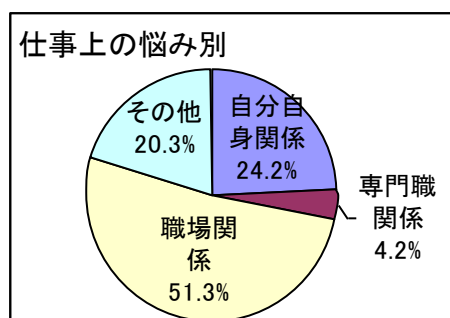
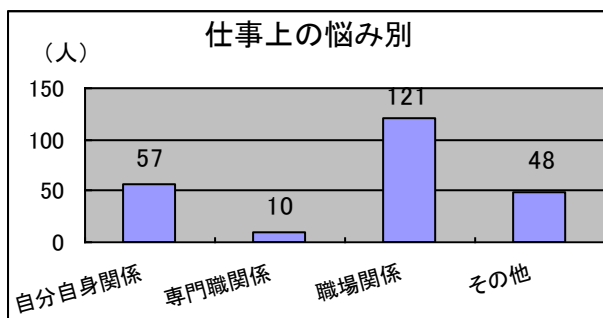
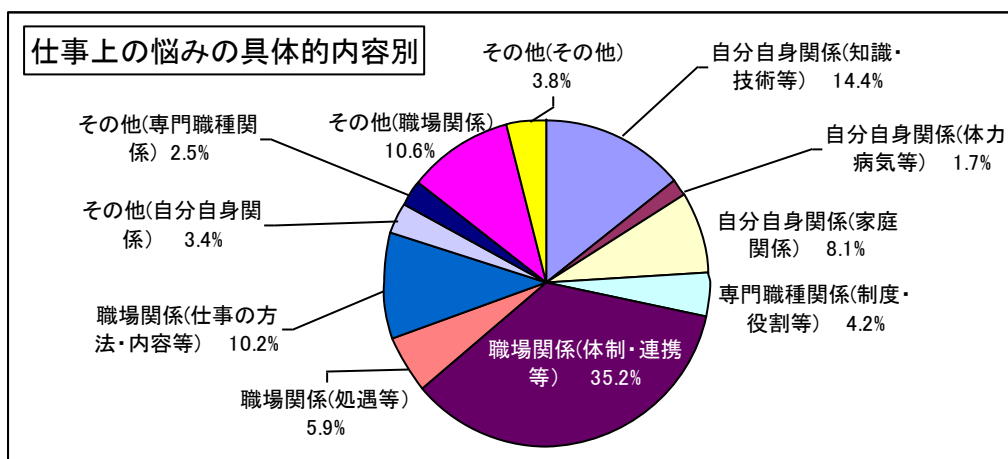


図 3 6 - 3



仕事をする上での悩みについて、「悩みがあれば記述してもらおう」という方法で調査したが、238名(52.7%)の記述があった。

表 3 6 及び図 3 6 各種の悩みの内訳をみると、「職場関係」が121名(51.3%)と半数以上を占めた。「自分自身関係」が24.2%、「その他」が20.3%と続く。具体的内容については、図 3 8 - 3 のとおりである。一番多い「職場関係」の中でも多かったのが「体制・連携等」についてで35.2%であった。内容としては、「リハ職が少なく(あるいは一人配置で)業務も多岐にわたって忙しい。研修も行けない。休みも取りづらい。人員を増やしてほしい」「リハ職同士の連携がうまくいかない」「リハ職と他の職種との連携がうまくいかない」等が大部分を占めていた。続く「自分自身関係(知識・技術)」については14.4%となっている。内容としては、「自分自身の知識不足・技術不足」「新人(後輩)教育が難しい」等があった。次に多い「その他(職場関係)」には、「必要な器具・機材の不足」「転勤があること」「周りの職員の意欲や熱意がない」「職場が遠い」等があった。また、「その他(その他)」の内容には、「介護保険制度に関すること」「医療か

ら地域への情報不足に関すること」「中核となるリハビリ病院がない。もっと宮城のリハビリを盛り上げたい」等があった。

表 3 7

男女別年齢別仕事上の悩み														
区分		仕事の悩み												
性別	年齢	自分自身			専門職		職場		その他				無回答	総計
		知識・技術	体力・病気	家庭関係	制度・役割	体制・連携	処遇	仕事方法・内容	その他(自分)	その他(専門職)	その他(職場)	その他(その他)		
総計	20～24歳	9			2	11	1	2	1	1	2	4	44	77
	25～29歳	12	2	9	2	28	4	9	1	2	5	1	61	136
	30～34歳	8		6	2	16	3	3	2	6	6		53	99
	35～39歳	2		3	1	10	3	5	2	1	5		23	55
	40～44歳	2	1	1	1	11	1	4	1	1	5	1	12	41
	45～49歳		1		2	6	2	1	1			1	7	21
	50～54歳						1	1			1	1	2	6
55歳以上	1			1						1	1	8	13	
総計		34	4	19	11	83	14	25	8	6	25	9	210	448

図 3 7 - 1

図 3 7 - 2

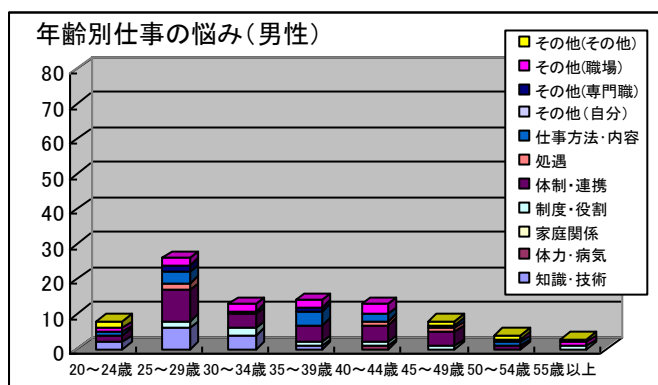


図 3 7 - 3

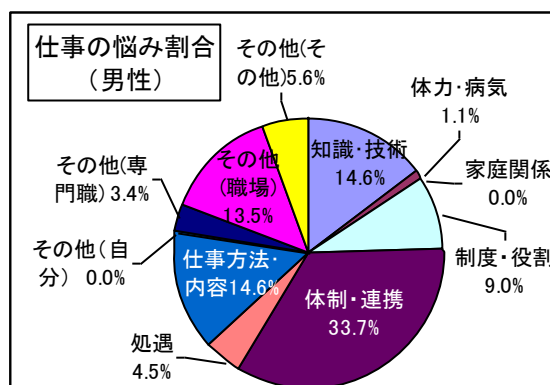


図 3 7 - 4

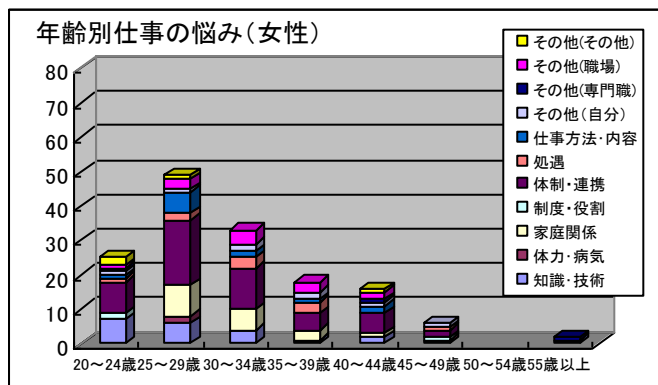


図 3 7 - 5

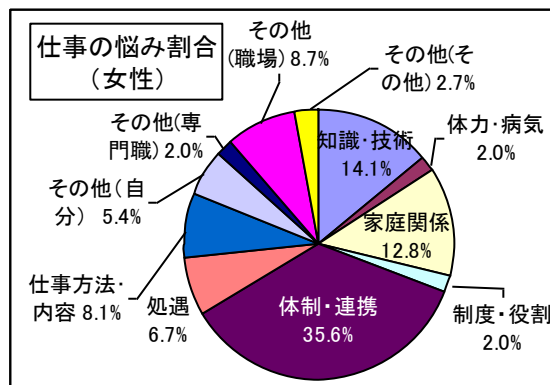
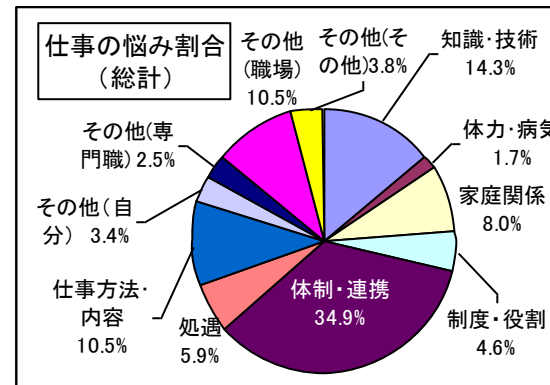
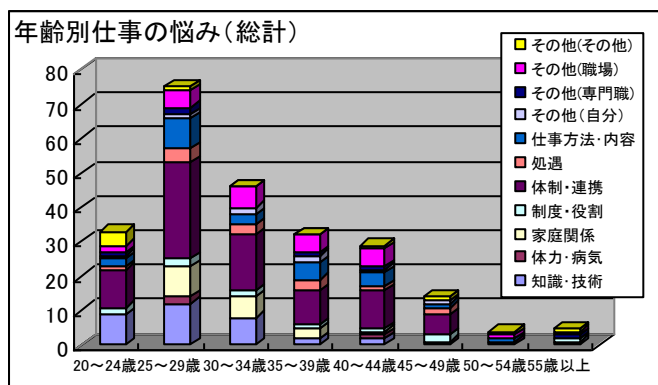


図 3 7 - 6



仕事上の悩みをしてみると、「体制・連携」についてが34.9%と最も多く、男女にもあまり大きな差はない。

職場内に関する悩みが男女とも全体の半分以上を占めている。

また、「知識・技術」に関する悩みも男女とも14%を超え、一定の多さとなっている。

男女の違いで目に付くのは、男性では0.0%の「家庭関係」が女性では8.0%であり、年代的にも20代後半から30代後半までが多く、結婚・出産・育児等の影響を窺わせる。

表38

区分		仕事の悩み											総計
職種	性別	自分自身			職場			その他					
		知識・技術	体力・病気	家庭関係	制度・役割	体制・連携	処遇	仕事方法・内容	その他(自分)	その他(専門職)	その他(職場)	その他(その他)	
OT	男性	3			1	5	2	5			6		22
	女性	13		5	2	22	4	5	3	2	5	3	64
OT計		16		5	3	27	6	10	3	2	11	3	86
PT	男性	10	1		7	25	2	8		3	6	5	67
	女性	8	3	14	1	31	6	7	5	1	8	1	85
PT計		18	4	14	8	56	8	15	5	4	14	6	152
合計	男性計	13	1		8	30	4	13		3	12	5	89
	女性計	21	3	19	3	53	10	12	8	3	13	4	149
総計		34	4	19	11	83	14	25	8	6	25	9	238

図38-1

図38-2

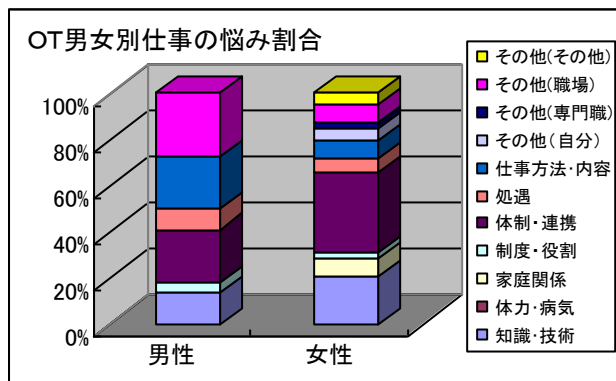


図38-3

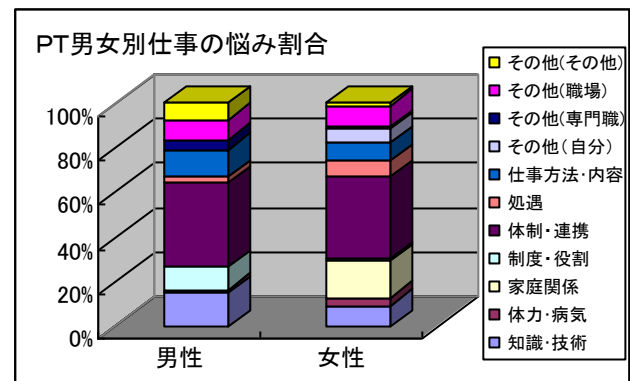
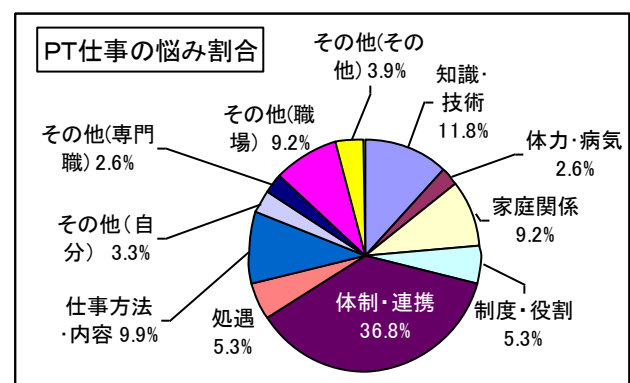
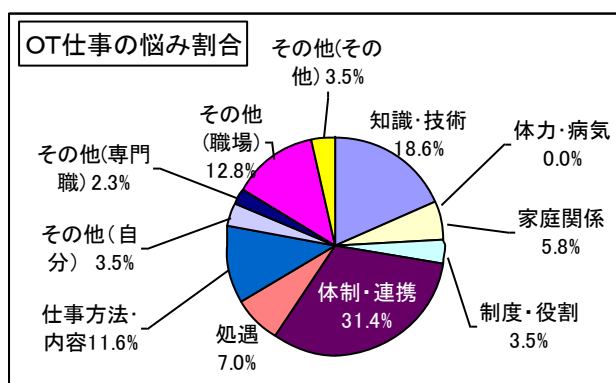


図38-4



仕事上の悩みを見ると、OTでは「職場（体制・連携）」についてが最も多く、次いで「自分自身（知識・技術）」についてとなっている。PTでもほとんど変わらないが、「職場（体制・連携）」がより多い割合となっている。

さらに男女別で見ると、OT女性では「職場（体制・連携）」に次いで多いのが「自分自身（知識・技術）」であるが、OT男性は「その他（職場）」が最も多く、「職場（体制・連携）」「職場（仕事方法・内容）」がそれに続く。PTでは男女に大きな違いはなく、それぞれにもっとも多いのは「職場（体制・連携）」である。ただし、男性では「専門職（制度・役割）」が、女性では「自分自身（家庭関係）」が互いにおいては少ないものであるのに、それぞれでは一定の割合を持つものとして見られる。

表 3 9

OTPT仕事上の悩み												
区分	仕事の悩み											
	自分自身			専門職	職場			その他				総計
職種	知識・技術	体力・病 気	家庭	制度・役 割	体制・連 携	処遇	仕事方 法・内容	その他 (自分)	その他 (専門職)	その他 (職場)	その他 (その他)	
OT計	16		5	3	27	6	10	3	2	11	3	86
PT計	18	4	14	8	56	8	15	5	4	14	6	152
総計	34	4	19	11	83	14	25	8	6	25	9	238

図 3 9 - 1

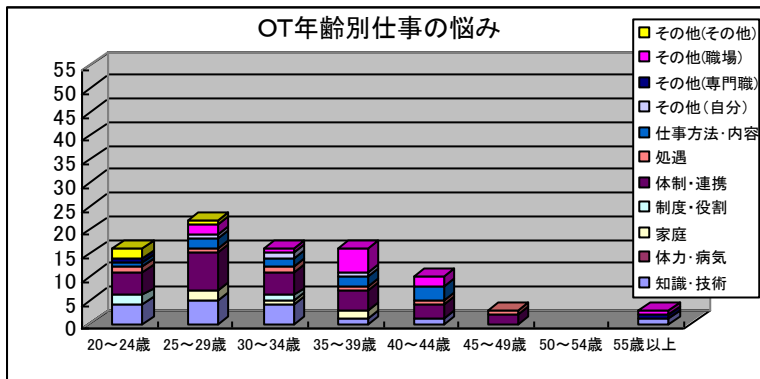
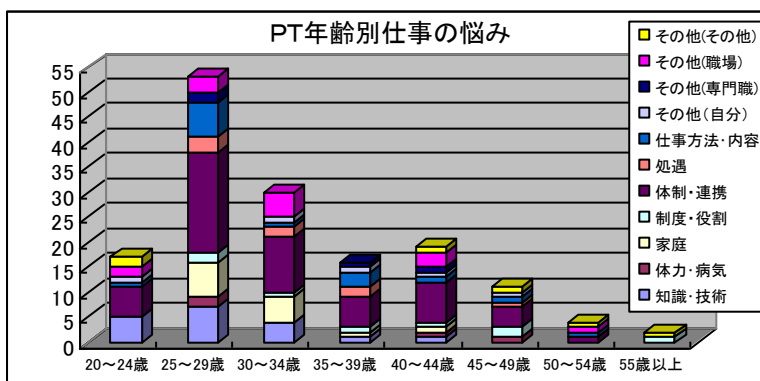


図 3 9 - 2



悩みを年齢で見ると、OTもPTも「職場（体制・連携）」については各年齢層で大きな割合を占めていることが分かる。また、年齢別の特徴として、双方とも中堅以下の年齢層では「自分自身（知識・技術）」と「自分自身（家庭関係）」についてが多く見られる。

表 4 0

男女別通算年数別仕事の悩み													
区分		仕事の悩み										総計	
性別	通算年数	自分自身			専門職	職場		その他					
		知識・技術	体力・病 気	家庭	制度・役 割	体制・連 携	処遇	仕事方 法・内容	その他 (自分)	その他 (専門職)	その他 (職場)	その他 (その他)	
男性	1年未満	4				1		2		1	1	1	10
	1～2年	1				3				1	1	1	7
	3～4年	4			1	4	1	3			2		15
	5～10年	3			2	10	1	2		1	2		21
	11～15年	1			1	6	1	3			2		14
	16～20年		1		1	2		2			2	1	9
	21年以上				3	4	1	1			2	2	13
男性計		13	1		8	30	4	13		3	12	5	89
女性	1年未満	5				5		1		1			13
	1～2年	4			1	5		1	1	1		2	15
	3～4年	5	1	5	1	7	2	2			2		25
	5～10年	5	1	8		21	2	4	4		7	1	53
	11～15年			3		4	4	1			1		13
	16～20年	1		3		10		2	3		2	1	22
	21年以上	1	1		1	1	1	1		2			8
女性計		21	3	19	3	53	10	12	8	3	13	4	149
総計		34	4	19	11	83	14	25	8	6	25	9	238

図 4 0 - 1

図 4 0 - 2

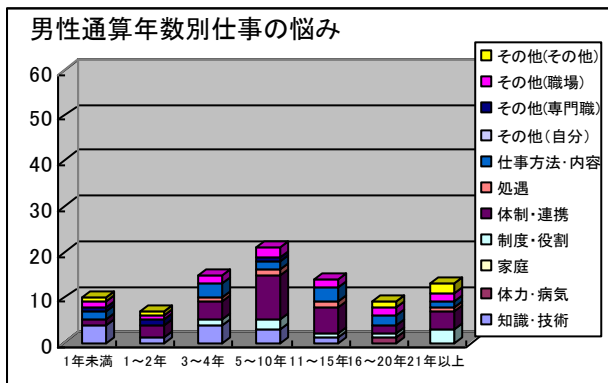


図 4 0 - 3

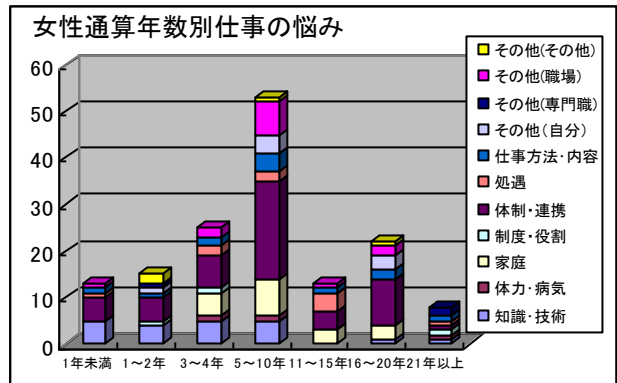
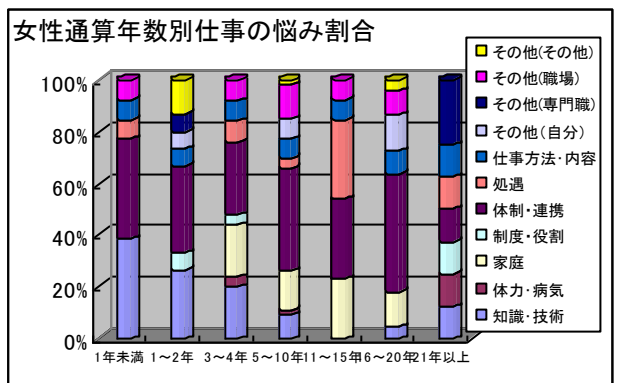
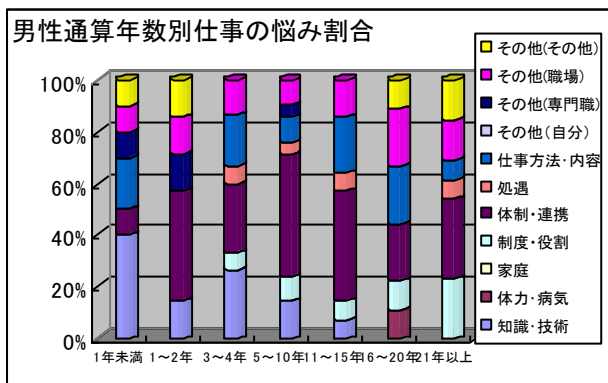


図 4 0 - 4



男女別に仕事の通算年数毎に仕事の悩みを見ると、男女とも共通しているのは、10年以下の年数では「自分自身（知識・技術）」が一定数おり、若い年齢ほど悩みの総数に占める割合は高い。

また、「職場（体制・連携）」について、各年代において全体の人数に応じて増減するものの、その占める割合は概ね一定となっている。「その他（職場）」は各年代一定の割合で見られる。

「職場（仕事の方法・内容）」についても男女両方に見られるが、男性の方がより割合が高い。逆に「職場（処遇）」については女性の割合が高い。

男性で特徴的なのは「専門職種（制度・役割）」についての悩みが中堅以降になるにつれ大きな割合となってくることである。女性では3～20年の間に「自分自身（家庭関係）」が一定数を占めていることが特徴と言える。

表 4 1

職種別満足度別悩みの詳細		自分自身関係			専門職種関係		職場関係			その他			総計
職種別	満足度	知識・技術等	体力・病気等	家庭関係	制度・役割等	体制・連携等	処遇等	仕事の方法・内容等	自分自身関係	専門職種関係	職場関係	その他	
OT	満足している	5		3		8	5			1	5	3	30
	満足していない	10		2	3	18	1	9	3	1	6		53
集計		15		5	3	26	6	9	3	2	11	3	83
PT	満足している	9	2	6	3	22		3	3	2	2	4	56
	満足していない	9	2	8	5	34	7	11	2	2	12	2	94
集計		18	4	14	8	56	7	14	5	4	14	6	150
総計		33	4	19	11	82	13	23	8	6	25	9	233

図 4 1 - 1

図 4 1 - 2

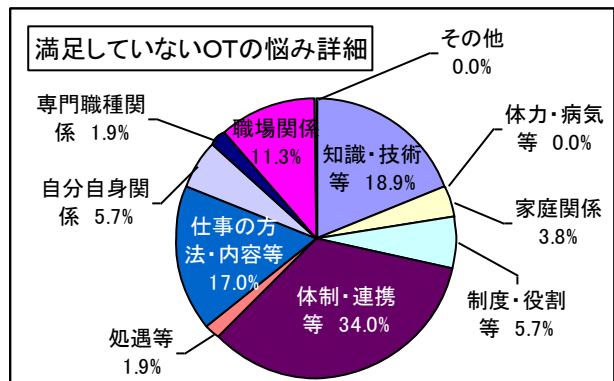
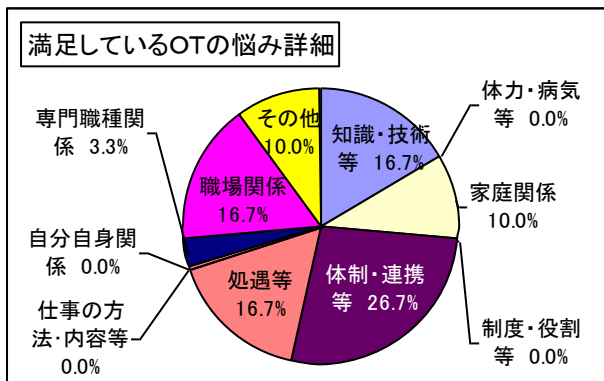
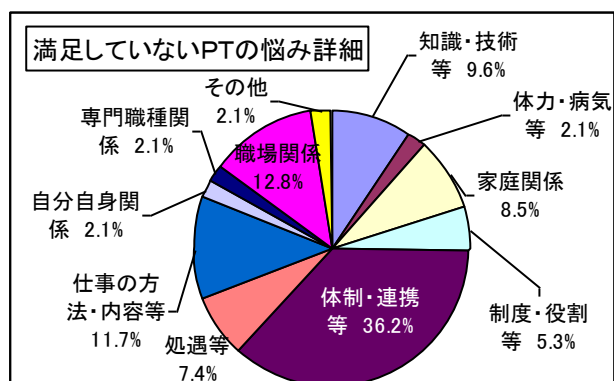
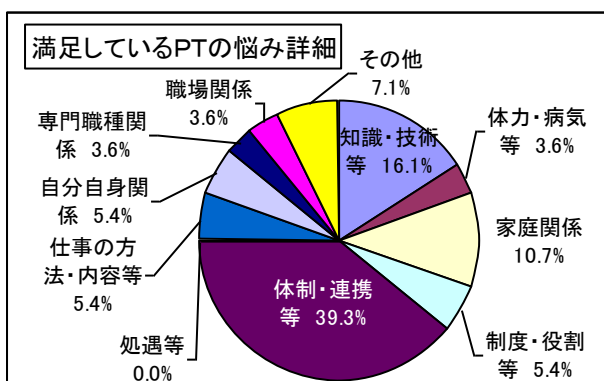


図 4 1 - 3

図 4 1 - 4



職種別満足度別に見てみると、OT・PTともに満足度に関わらず悩みの中で最も多いのは「職場関係（体制・連携等）」である。次いで満足しているOT及びPT，満足していないOTでは「自分自身（知識・技術等）」がそれぞれ16.7%，18.9%，16.1%となっている。また，満足していないPTに関しては「職場関係（仕事の方法・内容等）」が2番目に多くなっている。

表 4 2

満足度別悩みの概要		自分自身関係			専門職種関係	職場関係			その他				総計
性別	満足の有無	知識・技術等	体力・病気等	家庭関係	制度・役割等	体制・連携等	処遇等	仕事の方法・内容等	自分自身関係	専門職種関係	職場関係	その他	
男性	満足している	5			3	11	2	1		1	2	3	70
	満足していない	8	1		5	18	2	11		2	10	2	95
	無回答					1		1					3
集計		13	1		7	30	4	12		3	12	5	168
女性	満足している	9	2	9		19	3	2	3	2	5	4	116
	満足していない	11	1	10	3	34	6	9	5	1	8		144
	無回答	1					1	1					20
集計		21	3	19	3	53	10	12	8	3	13	4	280
総計		34	4	19	10	83	14	24	8	6	25	9	448

図 4 2 - 1

図 4 2 - 2

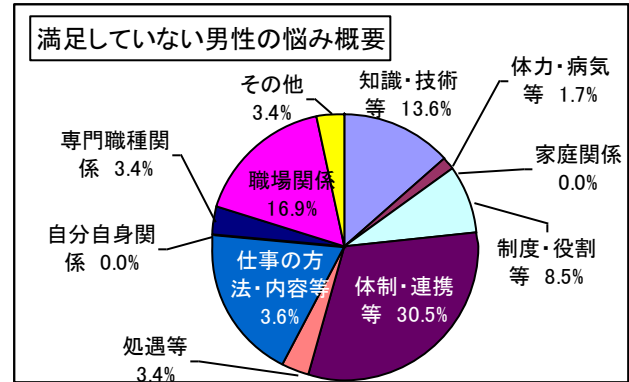
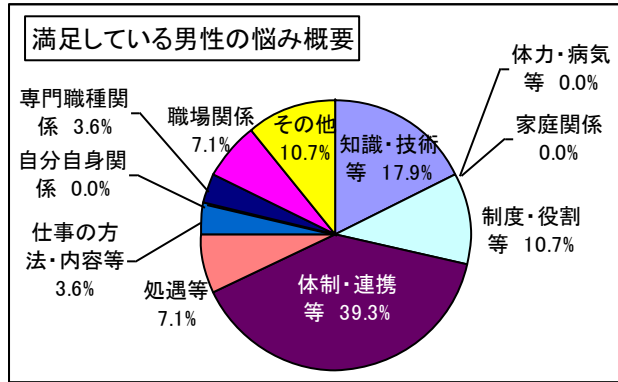
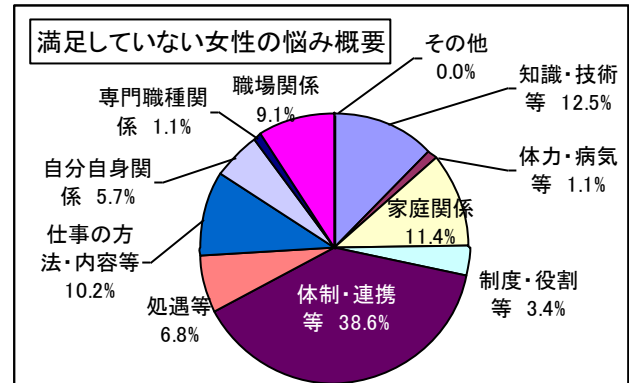
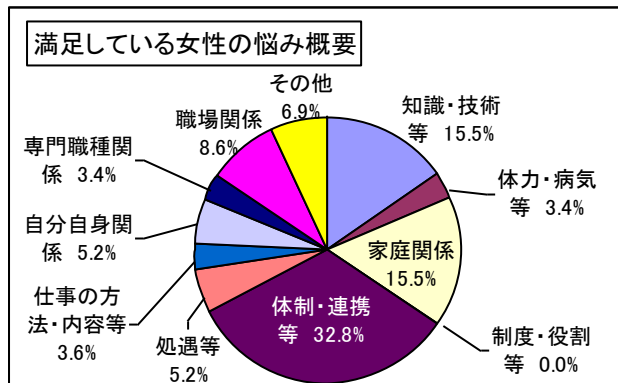


図 4 2 - 3

図 4 2 - 4



男女別満足度別に見てみると、満足度に関わらず「職場関係（体制・連携等）」の割合が一番高い。満足してる男性は、満足していない男性に比べて「職場関係（体制・連携等）」が少なく、「職場関係（仕事の方法・内容等）」及び「その他（職場関係）」の割合が多くなっている。女性では、「職場関係（仕事の方法・内容等）」で同等の傾向が見られるが、「職場関係（体制・連携等）」ではむしろ増え、満足していない方で割合が高くなっている。また、女性では、満足している・満足していないの両方で「自分自身（家庭関係）」の割合が、11.4%及び15.5%とそれぞれ2位3位を占めている。

また、特徴的なのは、4つのグラフを比較した場合、満足していない男性の「職場関係（仕事の方法・内容等）」と「その他（職場関係）」の割合が多い。

## 6 まとめ

今回、このようにリハ専門職に対する調査を実施したことにより、あらためて様々なことが見え、本県のリハ専門職従事者の現状や抱える問題を浮き彫りにしたと思われる。

まず、仙台市内に居住している人、あるいは仙台市内の医療機関や施設等に勤務している人が全体の半数以上いるという実態が明らかになった。都市部と郡部の地域較差の大きさが、あらためて示されたと言える。そして、県内で働くリハ職のうち、県外出身者が数多くいることが分かった。

リハ専門職は女性が多く、かつ若い年齢層が多いことが明らかになった。そして、リハ専門職は自分のキャリアアップ等を重視しており、高い意欲を持って仕事をしている人が多く、そのために転職を経験する人も多いことが分かった。また、職場内にリハ専門職が少ないことで1人の業務量が多くなり、研修に行くことや休みを取ることが困難な状況になっている人もいる。さらに、職場内のリハ職同士の連携や他職種との連携に困難を感じている人が多いことも明確になった。

県としては、これらのことを踏まえ、より多くのリハ職の県内定着を目指した施策を実施することが必要となる。



## リハビリテーション専門職従事状況調査（従事者アンケート）

この調査は、リハビリテーション専門職の方の仕事への従事状況や意識を知るための調査です。  
○数字のあるものは選択式ですので、該当する数字を回答用紙に記載してください。（ ）は記述式です。選択肢がある場合は該当する記号を記載してください。（詳細は裏面参照）

1. あなたの性別は？ ①男 ②女
2. あなたの年齢は？ ①20才～24才 ②25才～29才 ③30才～34才 ④35才～39才  
⑤40才～44才 ⑥45才～49才 ⑦50才～54才 ⑧55才以上
3. あなたの出身地は？①宮城県内（ 市・郡）②東北他県（ 県）③その他（ ）
4. あなたの居住地は？①宮城県内（ 市・郡）②その他（ ）
5. あなたの職種は？ ①作業療法士 ②理学療法士
6. あなたの勤務先の種別は？ ①民間医療機関 ②公的医療機関 ③訪問看護ステーション  
④老人保健施設 ⑤その他（ ） ⑥無職  
※設問6で無職と答えた方は、以下設問9, 12, 14（転職を就職と読替え）にのみお答えください
7. あなたの勤務先の所在地は？（ 市・郡）
8. 今の職場での勤務年数は？ ①1年未満 ②1～2年 ③3～4年 ④5～10年  
⑤11～15年 ⑥16～20年 ⑦21年以上
9. 資格取得後の通算勤務年数は？①1年未満 ②1～2年 ③3～4年 ④5～10年  
⑤11～15年 ⑥16～20年 ⑦21年以上
10. あなたの雇用形態は？ ①常勤（正職員） ②非常勤
11. あなたの勤務形態は？ ①専従（職場の掛持ちなし） ②兼務（職場の掛持ちあり）
12. 仕事をする上で、あなたが仕事内容あるいは職場に求めるものは何ですか？  
又は、就職の際に重視するものでも構いません（優先度の高い順に下記から三つ選択）  
（1 2 3 （その他の場合は内容： ））  
① やり甲斐・理念 ② 事業所の経営姿勢 ③ 待遇（給与・福利厚生）  
④ 職員の技術向上への配慮 ⑤ 事業所（施設）規模 ⑥ 事業所の将来性  
⑦ 機器・設備の充実度 ⑧ 職場内の連携 ⑨ 職場の所在地 ⑩ その他
13. 現在の職場はあなたの求めるものを満足させていますか？ ①はい ②いいえ
14. あなたは転職経験がありますか？  
①はい（ 回） ②いいえ（ア希望あり イ希望なし）
15. 転職経験ありの方、又は、転職希望ありの方はその理由を教えてください  
（ ）
16. 現在の仕事・勤務先に対して改善の要望はありますか？  
①ある（ア処遇・イ仕事内容・ウ職場環境）②ない
17. 改善の要望がある方、具体的にはどのような要望ですか？  
（ ）
18. 仕事をする上で、あなたが現在抱えている悩みがあれば教えてください  
（ ）

御協力ありがとうございました。

## \* ～用語集～ \*

本書図表中の項目ごとに使用している用語のうち、解説が必要と思われるものについては以下のとおり。

### (1) 出身地・居住地共通

- ① 仙台圏域  
塩竈市・多賀城市・名取市・岩沼市・亶理郡・宮城郡・黒川郡
- ② 仙南圏域  
白石市・角田市・伊具郡・柴田郡・刈田郡
- ③ 大崎圏域  
大崎市・加美郡・遠田郡・
- ④ 栗原圏域  
栗原市
- ⑤ 登米圏域  
登米市
- ⑥ 石巻圏域  
石巻市・東松島市・牡鹿郡
- ⑦ 気仙沼圏域  
気仙沼市・本吉郡

### (2) 出身地

- ① 東北他県  
宮城県を除く東北各県
- ② その他（の県）  
東北地方を除く都道府県

### (3) 居住地

- ① その他・他県・隣県  
岩手県・秋田県・山形県・福島県

### (4) 通算年数

- ① 通算年数  
資格取得後の通算勤務年数

### (5) 仕事上重視するもの

- ① 仕事上重視するもの  
仕事をする上で、回答者が仕事内容あるいは職場に求めるもの、又は、就職の際に重視するもの
- ② やりがい  
やりがい・理念
- ③ 経営姿勢  
事業所の経営姿勢
- ④ 待遇  
待遇（給与・福利厚生）

- ⑤ 配慮  
職員の技術向上への配慮
- ⑥ 事業所規模  
事業所（施設）規模
- ⑦ 将来性  
事業所の将来性
- ⑧ 設備充実度  
機器・設備の充実度
- ⑨ 所在地  
職場の所在地

#### **(6) 仕事（職場）の満足度**

- ① 仕事（職場）の満足度  
回答者の求めるものに対する現在の仕事（職場）の満足度

#### **(7) 職場への改善要望**

- ① レベルアップ  
職員のレベルアップに関すること
  - ② 他職種理解  
他職種に対する理解，他職種からの理解
- ※ 調査時の回答方法は選択式ではなく，自由記載だったので，集計時に回答内容を分類したものである

#### **(8) 仕事上の悩み**

- ① 仕事上の悩み  
仕事をする上で回答者が現在抱えている悩み
  - ② 専門職関係（制度・役割）  
専門職の制度に関わること，専門職としての役割に関すること
- ※ 調査時の回答方法は選択式ではなく，自由記載だったので，集計時に回答内容を分類したものである

#### **(9) 転職**

- ※ 調査時の回答方法は選択式ではなく，自由記載だったので，集計時に回答内容を分類したものである

#### **(10) その他**

- ① 図表中特に単位の記載されていない数値は人数を表す